

広報

2016

10

No.531

おおくま



海こえてつながる想い

—スペインから的小法師—

おおくま点描

大川原の実証田で栽培しているコメが実りの時期を迎えていました。大川原での試験栽培は平成26年から始め、今年で3年目となりました。将来の帰還、営農再開に向けて放射性セシウムの吸着度合いを検査するための取り組みです。今年も町農業委員会のメンバーの皆さんやJA、県、町職員など25人で5月18日に田植えをしました。撮影した9月14日、まだ青々とした葉の上で雨露が輝いていました。稲刈りは10月中旬になりそうです。

目次

- ③ 広報に関するアンケート結果
- ⑩ ふるさとかわらばん
- ⑫ まちの話題
- ⑯ 絆おおくまふれあい通信
- ⑱ 教えておおちゃん放射性物質
- ⑲ お知らせ
- ⑳ 地域包括支援センターから
- ㉑ ほけんだより
- ㉒ 町民掲示板
- ㉓ 副町長室から
- ㉔ あらかると



クイズ「目指せ！おおく MASTER★」

おおちゃんクイズ(地域問題) Q・大熊町は双葉郡にありますが、なぜ双葉郡といわれるようになったか？

くうちゃんクイズ(方言問題) Q・「着物うっしょめえだど～」とはどんな意味？

大熊町に関する郷土・方言問題を町民の方から募集しています。

問 大熊町役場会津若松出張所 教育総務課

✉ kyoikusoumu@town.okuma.fukushima.jp

「71.8点」と

生の声多数

広報に関するアンケート

町は、県内外に避難する町民の皆さんが必要としている情報を知ることが目的に今年6月、広報に関するアンケートを実施しました。今回はその結果をお知らせします。

すでに東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から5年半余りが過ぎました。古里で暮らした記憶は否応なく遠ざかっていきます。今、どんなお知らせが皆さんの生活にとって大事なのか、どんな話題で皆さんが大熊町民としての絆を再確認できるのか。皆さんの回答から探りました。

質問の最後に町の広報広聴の姿勢に対し、100点満点で採点していただいたところ、平均71.8点という高い結果でした。皆さんが寛大な心で採点をしてくださったと捉えています。

一方で、自由記述の設問では数多くのご指摘をいただき、それぞれの事情を反映した具体的なご意見やご要望、ご不満を知ることができました。ここに記された一つ一つの回答こそ、皆さんが町に対して感じておられる「生」の声であると思っています。

そこで、今回のアンケート結果報告は、選択式でご回答いただいた設問についてはグラフを用いて割合を示すほか、記述式のご回答を多く紹介し、皆さんの思いを知ってもらう構成になっています。

これらの結果は今後の広報広聴体制の充実に生かしていきたいと考えています。なお、結果の詳細は広報おおくま10月1日号の発行に合わせ、町公式ホームページで公表します。

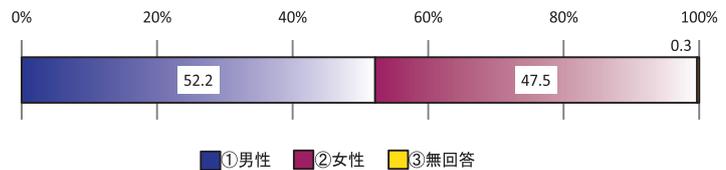
皆さんのご協力ありがとうございました。

広報活動に関する アンケート調査概要

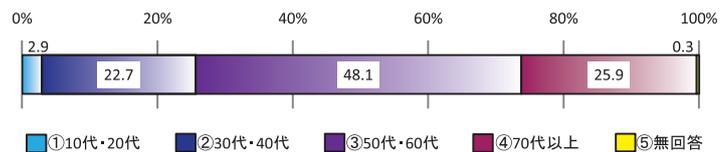
実施期間 5月26日～6月30日
調査対象 避難先ごとの世帯主または構成員（どなたかお一人）
調査方法 避難先ごとの代表者あてに調査票および返信用封筒を郵送し配布。返信用封筒により郵送で回収
対象者数 4,873件
回答数 1,771件
回答率 36.3%

※表中のパーセント表示は、小数点第2位以下を四捨五入して表示していますので、合計が100%にならない場合があります

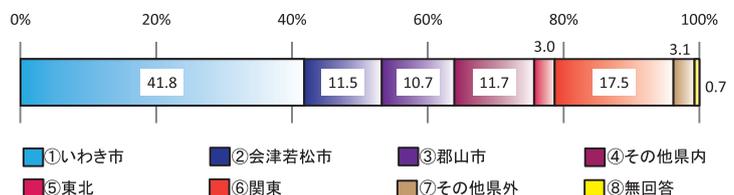
性別



年代



お住まいの地域



不十分

広報おおくま



多くの皆さんが広報おおくまに対し、高い関心を持ってくださっていることが分かります。よく読む記事には「お知らせ」「まちの話題」のほかに「大熊町の避難状況」「出生・婚姻・おくやみ」を挙げる方が多かったです。自分以外の町民の動向や知人の消息を知りたいという思いだろうと考えます。

取り上げてほしい記事で最も多かったのは「避難先での生活再建支援」。町で相談に応じられる支援策は、町内にある住宅

が損壊した方が対象の「生活再建支援制度」、今年度から始まった「生活サポート補助金」、避難先に住宅を再建した際の「すまいの復興給付金」（国制度）があります。これまでも紹介していますが、今後あらためて適切な時期に掲載できるように検討します。一方、子育て補助や太陽光発電への補助など避難先の市区町村によって違いがある制度については、まず避難先自治体にお問い合わせください。

「現地復興拠点の情報」は、

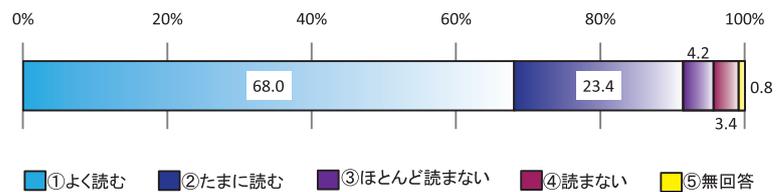
拠点を構成する施設の単発的な紹介にとどまっているのが現状です。どういう全体構想の、どういう時間軸の中に位置する情報なのか分かるような広報の在り方を、今後検討しなければならぬと考えています。

「中間貯蔵施設の情報」「避難指示解除の見通し」はともに政府が示す方針に密接にかかわる事柄で、情報提供も関係省庁が行うのが基本です。内容が分かりづらかったり、広報するのが遅れたりすることがあります。

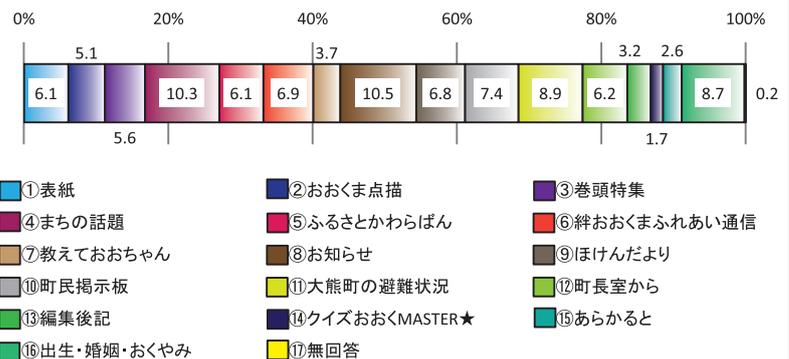
お知らせまでの間に町の確認作業もあり、速やかに分かりやすい広報をするよう働きかけるなどして改善に努めます。

「道路・鉄道などのインフラ復旧」については、国や県と協力して「ふるさとかわらばん」というコーナーで毎月、町内の復興状況を紹介しています。現在進んでいる工事や調査、巡回中に見かけた町内の様子など、きめ細かな情報の掲載を心掛けていますが、さらに読みやすい掲載方法を考えていきます。

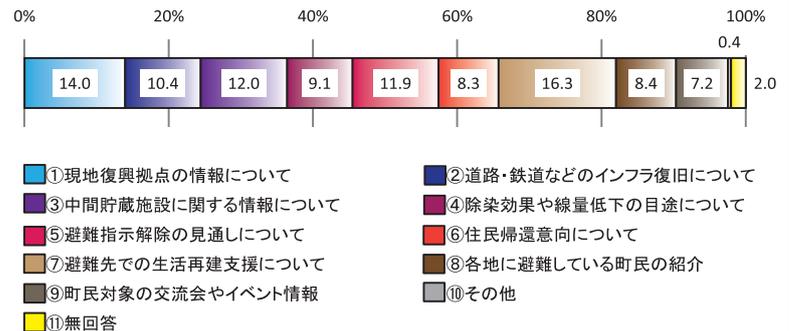
「広報おおくま」を読んでいますか



よく読む記事はどれですか(複数回答可)



取り上げてほしい記事、特集内容を教えてください(複数回答可)



内容も情報量も

広報おおくまへの ご意見ご要望

- ・大熊町に係るどんな小さな情報でも載せてほしい（男性・70代～・会津若松市）
- ・お知らせ記事で理解しづらいときが多い。分かりやすく書くべき（男性・30～40代・会津若松市）
- ・中間貯蔵施設についての状況が分かりづらいので情報がほしい（男性・30～40代・いわき市）
- ・毎日大変ですが、広報紙でいつも癒やされています（男性・30～40代、関東）
- ・復興計画を具体的に時々知らせしてほしい（女性・50～60代・その他県内）
- ・町役場の職員の方の思いを知りたい（女性・30～40代・関東）
- ・住民の半数近くの関心事は住宅の再建だと思います（男性・50～60代・会津若松市）
- ・表紙の写真のアングルとかが、あまり上手ではない（女性・50～60代・その他県内）
- ・写真が小さくて、誰が写っているか分からない（男性・50～60代・いわき市）
- ・カタカナの言葉が多くて意味が分からない（女性・70代～・いわき市）
- ・ほげんだより、町民掲示板のレイアウトが見やすくなりました（女性・50～60代・東北）
- ・重要なお知らせが埋もれていないか？（男性・30～40代・東北）
- ・住民が望んでいる内容がなく、毎回同じ内容でマンネリしている（男性・30～40代・いわき市）
- ・お墓の情報を知りたい（女性・50～60代・関東）
- ・人事異動になったら課長クラス、副町長等の顔写真を載せてほしい。どの人が誰だか分からない（女性・70代～・会津若松市）
- ・毎号、隅から隅までじっくり読んでいます（女性・50～60代、その他県内）
- ・大熊町の現況と将来像をはっきり教えてほしい（男性・70代～・郡山市）
- ・コンパクトに書いてほしい（男性・70代～・関東）

■「月1回でよい」（男性・30～40代・会津若松他）

↓主な理由として、郵送にかかる費用が無駄ということと、大量の同封チラシがわずらわしいことが挙げられました。

現在、月2回発行している広報おおくまは、県の「ふるさとふくしま情報提供事業（広報誌送付事業）」を活用して皆さんに届けています。これは避難者に県や市町村の広報や新聞のダイジェスト版を発信して、生活再建支援に役立ててもらおう目的で行われています。簡単に言うと県の広報物に広報おおくまを同封しているということで、町の費用負担はありません。しかし、この事業が今後も継続されるかどうかは分からず、将来は町の負担で送ることになる可能性もあります。このため発行回数を月1回に減らすことは、今

から検討しておかなければなりません。月1回だと、皆さんへのお知らせが1カ月先延ばしになる恐れもあります。公式ホームページなどへの掲載はできても、高齢の方などインターネットの視聴環境がない方は確認できません。なるべく紙媒体を使って適切な時期にお知らせできるように、役場庁内の体制を整えておくことを検討します。

チラシなどの同封物は、毎回少なくとも10種類以上、多い時は20種類を超えることもあり、すべてに目を通せないほど大量に届くこともあります。同封物に関しては記事を要約して広報紙面に掲載するよう地道に努力していきますので、ご理解をお願いします。

チャラシなどの同封物は、毎回少なくとも10種類以上、多い時は20種類を超えることもあり、すべてに目を通せないほど大量に届くこともあります。同封物に関しては記事を要約して広報紙面に掲載するよう地道に努力していきますので、ご理解をお願いします。

■「カラー写真が多く使われ見やすくなった」

（女性・50～60代・いわき）

■「カラー面は抑えて経費削減を」

（男性・50～60代・いわき）

↓今年1月1日号からの紙面改革に伴い、レイアウトの改善や掲載記事の精査により、情報量はそのままに適度なページ数に収めるよう努め、カラー化前8カ月では平均印刷代が39万8000円（5200部）だったのに対し、カラー化後8カ月では平均30万8000円（5200部）でした。今後も、より見やすく効率的な紙面制作を目指していきます。

■「帰還ありきの方向からの情報ばかり」

（女性・30～40代・いわき）

↓戻りたい人がいる限りは帰還を目指すというのが町長の考えであり、その視点からの情報をお伝えすることが広報の役割の一つと考えています。ただ、現状では戻れないと考えている皆さんの方が多く、その事実を常に念頭に置いた編集を忘れてはいけなさと考えています。

検討必要

公式ホームページ 公式フェイスブック タブレット端末

○●ホームページ○

「見る」「見ない」の割合はだいたい半々でした。見ない理由の36・7%が「パソコンやスマホを持っていない」でしたが、そう答えた方の94%が広報紙を「よく読む」「たまに読む」とも答えており、紙媒体か電子媒体のどちらかでお知らせできているようです。

ただ、ホームページの分かりやすさ、情報の探しやすさなど内容の充実度について「探しにくい」「情報量が少ない」と答えた方が、いずれも1割を超えています。忙しく、広報紙を広げて記事をしつくり読む時間がない方にとつては、ネットの接続環境があれ

ばどこでも見ることができるとホームページが重要な情報源。より簡潔に、多くの情報に触れることができるよう構成に向け、今後の改善が必

要であると感じています。

よく見る内容で一番多かったのは「町からのお知らせ」、次いで「復興サイト」で、「震災関連情報」や「情報提供・町民掲示板」も関心が高いようです。基本的に広報紙と同じ内容を掲載していますが、ホームページ向けに違う紹介の仕方が必要か、考えていきます。

■「スマホでは見づらい」

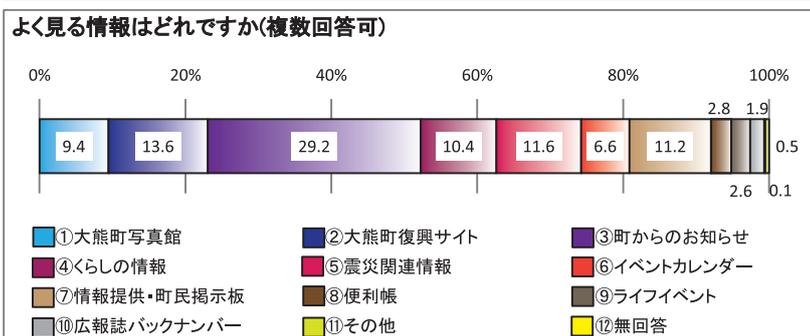
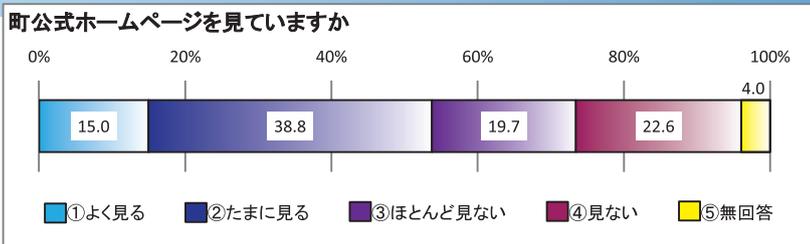
(女性・30〜40代・いわき)

↓昨年ホームページをリニューアルした際、スマートフォンなどの携帯端末に対応した画面で表示できるようにしました。上下にスクロールする縦長のつくりで文字拡大もできます。画面右上の「三」マークを押すとメニューが開き、分類ごとのお知らせを見ることができます。また、スマートフォン用のトップページに検索機能が表示されていなかったため、追加しました。携帯端末での見やすさについては、今後も検討していきます。

■「大熊町写真館の掲載が少ない」

(男性・30〜40代・関東)

↓大熊町写真館は町に関連した出来事の写真その都度掲載していますが、掲載期間に空白部分があるため、随時追加して内容を充実させている段階です。広報のおおくまで紹介しきれなかった写真なども積極的に掲載したいと考えていますが、時間がかかるのが現状です。長い目で見守っていただければ幸いです。



ホームページへのご意見ご要望

- ・高齢者には操作ができず、独居生活者には見ることができません(女性・70代〜・いわき市)
- ・広報誌と内容がダブっているので、わざわざ見ません(女性・50〜60代・その他県内)
- ・細かい情報がなく、結局役場へ電話等で連絡して確認するしかない。(男性・30〜40代・東北)
- ・町議会での審議内容について、項目ばかりでなく、内容を簡潔にまとめて知らせてほしい(男性・50〜60代・いわき市)
- ・広報より情報が早くて良い(女性・30〜40代・いわき市)
- ・町内の放射線量をもう少し詳しく知りたい(男性・70代・関東)
- ・国や県、東電へ様々な申し入れをしていると思うが、内容・結果も含め載せてほしい。町の全ての会議や、住民説明会、懇談会全ての議事録を載せてほしい。どういう話、意見が出ているのかももっと知りたい(女性・30〜40代・無回答)
- ・内容がマンネリしている。新たな手続きや情報収集のみ利用している(男性・30〜40代・いわき市)



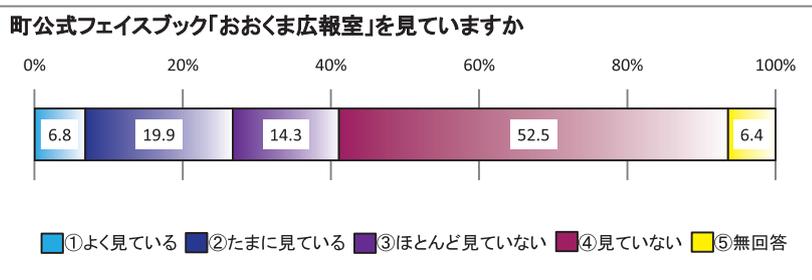
それぞれの役割

フェイスブック

公式フェイスブックをおくま広報室を「ほとんど見ていない」または「見ていない」と答えた方が6割を超えました。このうち3割以上の方が「あることを知らなかった」とを理由に挙げています。

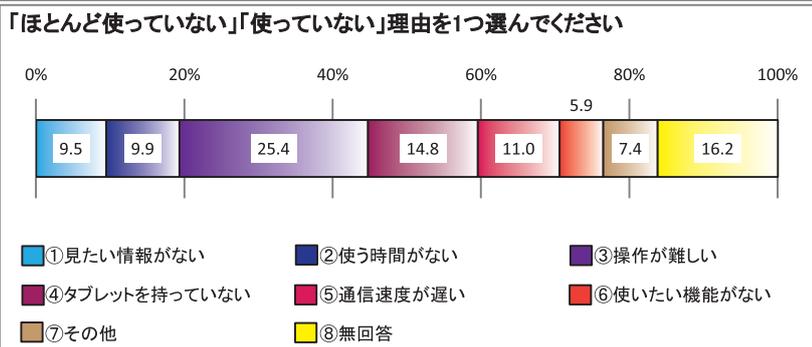
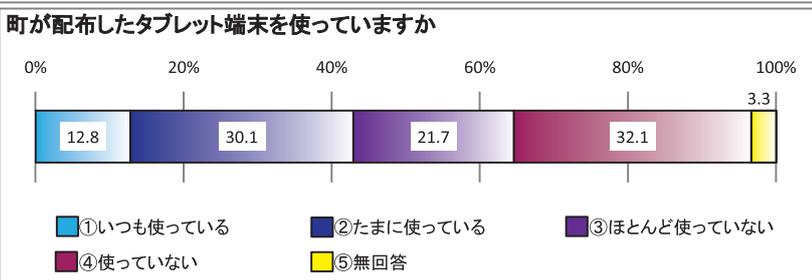
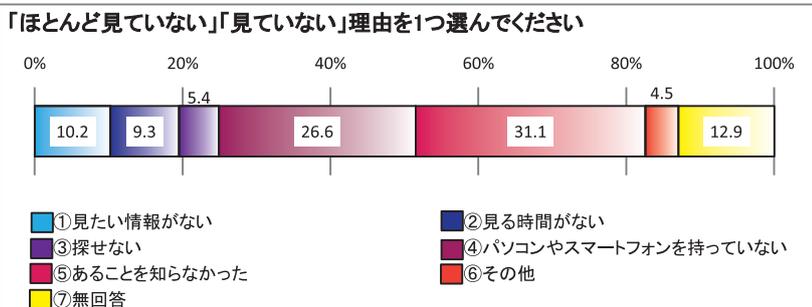
広報おくまへの要望にも多かったのですが、投稿してほしい内容に「町内の様子」を挙げた方が4分の1いらっしゃいました。町内の様子はなるべく多く紹介するよう心がけていますが、季節の花の写真などが多くマンネリ化している印象は否めません。古里の現状を知りたいという声は、避難が続く皆さんの切実な想いです。今後は多様な紹介の仕方を検討しなければならぬと感じています。「町長や町職員からのメッセージ」も12・7%と高い割合でした。郡内の他町村では職員が積極的に媒体に登場しているところもあるため、参考にします。

公式フェイスブックはもとも、広報紙や公式ホームページで十分に紹介しきれなかった身近なイベントや話題を速やかに発信し、気軽に楽しんでもらうために始めました。しかし、そもその周知と、読みたいと思える記事の配信ともに不十分であると痛感しています。



フェイスブックへのご意見ご要望

- ・「ホームページ」との違いは？限られた時間で両方を見るメリットは？（男性・30～40代・東北）
- ・フェイスブックと言っても分からない（女性・70代・いわき市）
- ・フェイスブックの良さは拡散性です。そこをどう利用するかを考えて記事をアップすれば良いと思います（男性・30～40代・その他県外）



タブレット端末

「ほとんど使っていない」「使っていない」と答えた方が半数を超えました。理由については「操作が難しい」がトップで25%でした。タブレット端末は町からの情報を瞬時にお知らせし、遠く離れた町民同士がテレビ電話で会話できるようにと、平成25年4月に導入しました。現在、約4500台が配布されていますが、日常的に使わ

れているのは約4割にとどまっています。高齢の方には操作が難しいことと、通信速度も遅いことなどが理由と考えています。

現行のタブレット端末は来年3月で終了し、4月には最新の端末を配布する予定です。現行端末の反省点を生かせるよう、機能などを検討しています。

高い関心

広報広聴全般



情報入手の手段は「広報おおくま」が最も多く4割近い回答でした。次いで多かったのは「テレビ・新聞・ラジオ・インターネット」といったマスコミ報道が挙げられました。以下、「知り合いから聞いて」「大熊町タブレット」「公式ホームページ」の順でした。町が力を入れるべき媒体についても、おおむね同様の結果だったといえます。

マスコミ報道が重要な情報入手の手段となっていることが分かります。特に遠く離れた場所に暮らす方々がニュースや新聞記事で「大熊町」と見聞きしたときの懐かしさは、言葉に表せないものがあるかと思えます。しかし、報道で大熊町が話題に上る機会については、半数以上が少なく感じています。町民の皆さんの関心が高い復興拠点に関する情報について、情報発信が不十分であることは町としても認識しているところです。震災前から報道機関へのPRが不

慣れだったため、震災後の重要な情報も周知が上手だったとは言いがたい状況です。いかに効果的に大切なことを伝えるか、今後の課題です。

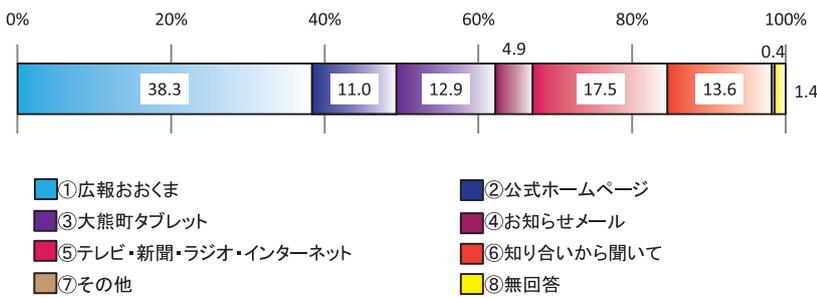
マスコミ報道に比べて町からのお知らせが遅いとのこと指摘をいただきました。重要施策などに関して町が発信する情報は、原則として確実に実施することが決まったことに限られます。新聞記事やニュースによくある「〘〙」「〚〛する模様」という段

階で情報発信するのは難しく、結果としてマスコミ報道が先行してしまうことが多々あります。この立場を変更することは厳しいですが、確定段階できめ細かな情報を提供するなど、別の形で役立てるよう考えます。

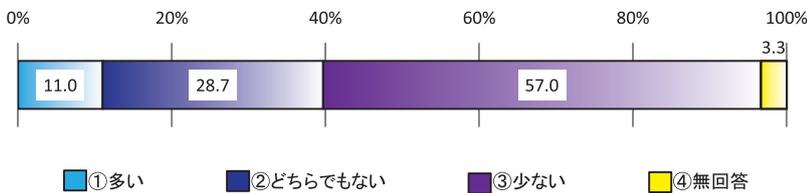
町に対して意見があるとき「あきらめる」方が2割を超えていました。おそらくはじめからあきらめていた訳ではなく、「窓口を訪問する」「電話をする」などの段階を経て、そうなってしまうのだと思います。いかに日ごろの対応で皆さんの要望に応えられるかを各部署で再度点検しなければならないと感じています。

■「成人した若者たちは今、町のことをどう考え、また将来的に町に戻り復興させていくのか」
（女性・30〜40歳・その他県内）

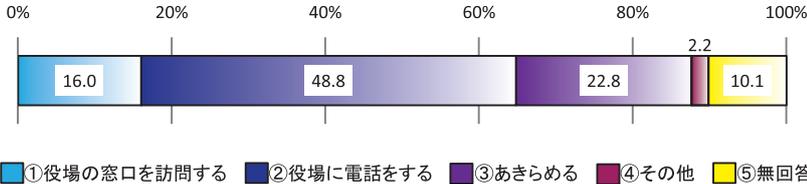
町の情報を主にどのような方法で知りますか(複数回答可)



新聞やテレビなどで町に関するニュースを目にする機会は？



町に対して意見があるとき、どうしますか



↓広報おおくまの「絆おおくまふれあい通信」では、町民の中から毎月2人ずつご登場いただき、町の思い出や避難の体験談、現在の暮らしなどをインタビューしています。このコーナーで若年層の方にご登場いただく回数を増やし、そうした町への思いを語っていただくようにしたいと思います。

再認識すべき

71.8点 広報広聴への採点・どうしたら点数が上がるか

- ・100点・月2回の広報紙やタブレットで必要な情報は得られていると思うから(女性・50～60代・いわき市)
- ・90点・気をつけて読めば必要な情報は大体載っています(男性・50～60代・会津若松市)
- ・80点・県外避難者に関する情報が少ないと思う(男性・30～40代・関東)
- ・80点・町民参加型ページがあっても良いかと思えます。俳句・川柳、思い出の写真、エピソードなど返信封筒を使い手軽に参加できるように(女性・50～60代・いわき市)
- ・80点・復興計画のこれからのスケジュールを載せ、今はここまで、と進ちょくを伝えてほしい(女性・10～20代・いわき市)
- ・80点・職員の方々の紹介やコメントなど、身近なホッとできるような話も聴きたいです(女性・30～40代・会津若松市)
- ・80点・分かりやすいので現状維持でよい(男性・30～40代・その他県外)
- ・80点・タブレットは希望者には長く使えるように考えてください(女性・50～60代・その他県内)
- ・80点・広聴という観点から、声を上げることのできない町民の意見を拾う仕組みが充実すると良いと思います(男性・50～60代・その他県内)
- ・79点・今後、このアンケートの結果を反映できれば合格点です(男性・70代以上・関東)
- ・78点・広報を隅から隅まで読んでもらう工夫があると、広報が届くワクワク感で楽しくなるのでは？(女性・50～60代・いわき市)
- ・75点・広報紙などでおおまかなことは分かるが、テレビや新聞より先に、町民として状況を把握していたいという思いがあります(女性・50～60代・いわき市)
- ・70点・どうすればいいかは町民に聞くことではないし、役場の人をもっと話し合うべきであると思う(男性・30～40代・いわき市)
- ・70点・紙面の構成、企画を工夫してください。楽しみにしています(男性・50～60代・その他県内)
- ・70点・もう少し復興状況を多く載せてほしい(男性・70代以上・郡山市)
- ・70点・情報がありすぎて、見るのが大変(女性・10～20代・東北)
- ・70点・一人一人の知りたい内容が違うため、100点はありえない(男性・50～60代・その他県外)
- ・65点・今の生活の中で特に重要と思っていないので、点数を上げる必要はない(男性・50～60代・いわき市)
- ・55点・もう少し研究を要すると思う。他町村とも比較してみてもよい(男性・70代以上・いわき市)
- ・50点・都合のいいことや耳ざわりのいいことだけでなく、きちんと真実を伝え続けてください(女性・10～20代・関東)
- ・50点・文章の表現が難しく、理解するのが大変(女性・50～60代・いわき市)
- ・50点・いつも同じような内容、構成なので読んでいてつまらない(女性・50～60代・いわき市)
- ・49点・新聞・テレビ等のマスコミを上手に活用すること(女性・50～60代・関東)
- ・20点・住民のインタビューは役場関係や区長経験者など似たような人たちばかり(女性・30～40代・その他県内)
- ・10点・県内の避難者向けの情報が多く、県外の人にとっては無関心になる(男性・50～60代・東北)
- ・10点・町民の気持ちと乖離しています。町ありきで情報を発信するのはいかがでしょうか。町をなくす議論もしたいです(男性・50～60代・関東)
- ・5点・町民の生の声がほとんど反映されていない(男性・50～60代・その他県内)
- ・無回答・広報は町民がどうしているかより、町からの連絡だけでよい(女性・30～40代・いわき市)
- ・無回答・点数は付けられないが、パソコンやスマートフォンを持たない人にも必ず全ての情報が伝わるようにしてほしい(女性・50～60代・いわき市)

全体を通じて

大熊町の広報広聴業務は、主に総務課秘書広聴係の職員3人と復興支援員1人、臨時職員1人が担当しています。媒体は広報おおくま、公式ホームページ、公式フェイスブック、ブログ大熊町、タブレット端末などがあり、取材や編集、配信業務などに当たっています。

「町として広報のあり方も非常に厳しい中で、少しでも変化に対応する姿勢を大事にしたい。広報おおくまに「町として広報のあり方も非常に厳しい中で、少しでも変化に対応する姿勢を大事にしたい。広報おおくまに「町として広報のあり方も非常に厳しい中で、少しでも変化に対応する姿勢を大事にしたい。広報おおくまに」

「月2回の広報紙が楽しみ」「広報紙は月1回で十分」、「もっと積極的に情報発信を」、「全国に批判されないような情報発信を」など、相反する声もいくつか寄せられました。どの立場から情報発信するかによって、情報の中身は変わってきます。どの立場に立つかは、その都度葛藤するしかないと思っています。数多くのご意見をもとに、誠意をもって業務に取り組んでいきたいと思っています。

町内で着々と進む復興などの様子を、国・県・町が一体となりお知らせします。
今回は、農業用施設被災状況調査に伴う水路周辺の草刈等について紹介します。

かわらばん

大熊町役場会津若松出張所

☎0120-26-3844

いわき出張所

☎0120-26-5671

農業用施設（開水路）の被災状況調査のため 水路周辺の草刈・測量等実施しています

東北農政局では、農業用施設（開水路）に対する被災状況を確認するため、水路周辺の刈払い、測量、目視調査を実施します。

調査期間中はご迷惑をおかけしますが、ご協力をよろしくお願ひします。

○対象施設（下図参照）

坂下水路	3.0 km
上井水路	2.0 km
中井水路	1.5 km
熊堰水路	3.0 km

○業務期間

平成28年7月13日
～平成29年3月10日

○発注者

東北農政局
農村振興部 防災課

○作業機関

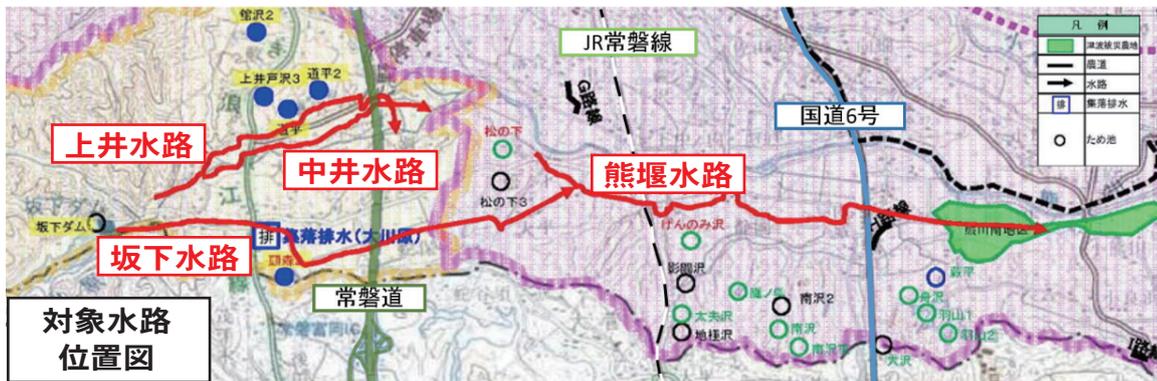
NTCコンサルタンツ株式
会社 東北支社

問 東北農政局

農村振興部防災課

☎022(263)1111

いわき出張所 復興事業課



＜昨年度の屋根養生工事の様子＞

不具合のある部分をシートで覆い、
その上に飛散防止の土のうを配置します

問 いわき出張所 復興事業課

屋根養生工事について

町ではシートによる屋根養生工事を実施しています。
一時帰宅された際に、台風等

によるシートのはがれや飛散、シートの劣化等にお気づきになられた方も今年度内に再養生の工事が可能です。期限内に左記までご連絡ください。

○対象地域 町内全域

○申込期限

平成28年12月9日（金）まで

※期限を過ぎてのお申し込みについては来年度の施工となる場合もありますのでご了承ください

中間貯蔵施設 保管場への輸送

○除染土壌等の輸送について
（8月11日～9月10日）

富岡町、楢葉町、会津美里町から中間貯蔵施設の保管場への輸送を行いました。

また、町有地への学校等からの搬入では、郡山市、田村市の中学校からふれあいパークおこまへの輸送を行いました。

○環境安全委員会について

9月1日に福島県、大熊町および双葉町等の委員からなる中間貯蔵施設環境安全委員会（第5回）が開催され、工事や輸送の状況等について報告しました。

引き続き安全確保に努めて中間貯蔵施設事業に取り組みます。

問 福島環境再生事務所

中間貯蔵施設等整備事務所
調査設計課

☎024(563)1293
いわき出張所 環境対策課

町の今、お伝えします

とさと

町内 パトロール 通信

問い合わせ出張所 復興事業課

復興事業課では、町道・農道等を中心に、毎月町内パトロールを実施しています。今回は環境大臣視察と台風前後のパトロールを紹介します。



海渡神社を視察する
環境大臣・町長・根本行政区長

○郷土の文化遺産を後世に
環境大臣に要望
(写真・左)

9月5日、中間貯蔵施設候補地内および町内を山本公一環境大臣が視察しました。視察地のひとつ、中間貯蔵施設候補地内の海渡(みわた)り神社は、町の文化財審議委員長を務める鎌田清衛さん(野馬形)

の長年の調査から春分の日と秋分の日の日2回、神社の本殿から真西の方向にある日隠山の山頂に夕日が沈むことが確認され、今後の詳しい調査が必要であることを環境大臣に説明しました。

同行した渡辺利綱町長、根本充春行政区長が豊かな歴史と文化を後世に残すためにも、古くからある神社等文化遺産の保存を強く要望しました。



鎌田清衛氏著「日隠山に陽は沈む」日隠山の由来や海渡神社との関係、小入野地区周辺の歴史を地元根ざした視点で考察した著作



▲洗掘され大きく
えぐれた林道

えぐれた部分を埋め、点圧を実施。補修対応中の林道▼



○台風前後のパトロール
復興事業課では、8月下旬から9月上旬の大雨や台風の後後に水路、農道の確認のパトロールを行いました。

詰まった水路のごみを除去し、補修が必要な箇所は次の災害に備えて早急に補修対応を行ないます。

皆さんも一時帰宅等でお気づきの箇所などありましたらお知らせください。

環境省 除染と 家屋の解体申請相談窓口

○除染の相談

環境省 現地除染相談室

☎ 0120(360)111

福島環境再生事務所

会津支所

☎ 0242(23)7970

○被災家屋の解体申請の相談
対象区域は大川原地区、中屋敷地区の全域および下野上地区で現在除染を行っている区域です。

問 福島環境再生事務所

会津支所

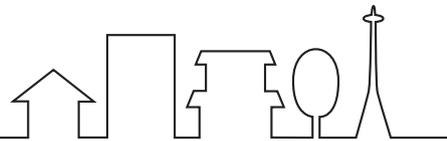
☎ 0242(23)7970

家屋損壊調査

除染をする区域の家屋の解体を希望する場合は、必ず損壊状況調査(家屋調査)が必要です。

手続きは簡単ですので左記までご連絡ください。

問 会津若松出張所 税務課



町民の避難所に指定

大規模な自然災害などの緊急事態に備えた町民の避難所として、東京電力の関連会社・東京エネシスの新事務所「福島総合支社」が指定されました。

新事務所は居住制限区域の熊字錦台に建設され、1階の約1000㎡が緊急時に避難所となります。汚染された外気を浄化する空気清浄機能付き給気ファン、水や食料の備蓄倉庫、停電用発電設備などを整え、200人が3日間滞在できます。

同社の熊谷努社長と渡辺



協定書にサインした渡辺町長(左)と熊谷社長



避難所に指定された新事務所

利綱町長が9月7日、新事務所での避難所指定に関する協定書に調印しました。渡辺町長は「今後、帰町に向けた動きが活発になることが予想され、避難所は安全安心の観点から大きな意味を持つ」とあいさつ。熊谷社長も「一日も早い福島復興のため、避難所機能を維持し、改善を図る」と述べました。

町内では、東京パワーテックノロジーが建設する新事務所も、緊急時の町民避難所に指定される予定です。

全会津中学駅伝でタスキつなく



力走した選手たち

9月6日、会津総合運動公園で第64回全会津中学校体育大会の駅伝競走大会が行われ、大熊中学校も男子、女子それぞれに出場しました。

この日は全校生徒が選手たちを応援するため会場に集まり、名前の入ったプラカードを持って、声援を送りました。

選手たちは、最後までタスキをつなぎ、他校からも温かい声援を受けながら見事ゴール。選手一人ひとりが力を発揮し、健闘した駅伝競争大会でした。

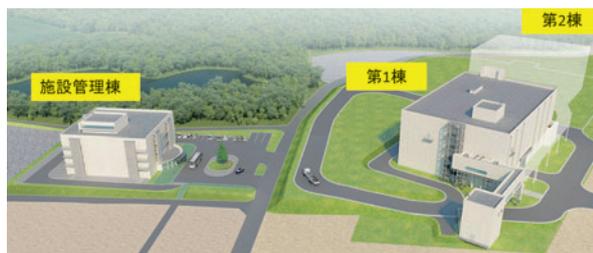
町長杯パークゴルフで熱戦

平成28年度大熊町長杯パークゴルフ大会は8月27日、北塩原村のグランデコリゾートパークゴルフ場で開催されました。台風による雨風の中、72人が出場。霧の中でプレーするなど厳しいコンディションの中、全員最終ホールまで元気にプレーしました。

▽男子①佐藤秀一②泉篤③富田英市④青山六郎⑤大西義昭
▽女子①菅原幸子②志賀幸子③富田睦子④長谷川三重子⑤秋本良子



雨の中で競技した出場者



センターの完成イメージ



くわ入れする出席者

熔融核燃料の分析施設が着工

東京電力福島第一原発事故で溶け落ちた核燃料や放射性廃棄物（燃料デブリ）の分析、処理方法を研究する日本原子力研究開発機構（JAEA）の「大熊分析・研究センター」が町内の同原発敷地内で着工しました。

同センターは3つの建物で構成され、今回着工したのは実験データの解析や事務作業などを行う施設管理棟。鉄筋コンクリート造りの4階建てで居室や会議室

などを備えますが、放射性物質は取り扱わない施設です。平成30年度の運用開始を目指しています。今後、低線量のがれきなどを扱う第1棟、燃料デブリや高線量のがれきなどを扱う第2棟を建設します。

9月7日に建設予定地で安全祈願祭と起工式が行われ、児玉敏雄JAEA理事長、渡辺利綱町長らがくわ入れしました。渡辺町長は「町民が安心して帰還できる環境を整えるための重要な施設。廃炉作業が確実に進むことを期待する」と述べました。

金婚夫婦14組を表彰

第30回あわせ金婚夫婦表彰式が9月6日、町役場会津若松出張所で行われ、対象の14組をたたえました。式には佐藤勝男さん・ミサヲさん夫婦ら5組が出席し、主催する福島民報社の鞍田炎会津若松支社長から表彰状を受けました。渡辺利綱町長、鈴木光一町議会議長、渡部正勝町社会福祉協議会長が祝辞を述べました。今回対象となった夫婦が結婚したのは昭和41年。日本の総人口が初めて1億人を超え、ビートルズが来日した年でした。



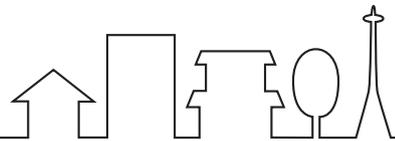
金婚夫婦をたたえた表彰式

若松の復興公営住宅、鍵引き渡し

会津若松市の復興公営住宅・城北団地が完成し、8月25日に入居者への鍵引き渡し式が行われました。同団地は全21棟30戸で、このうち16棟20戸は解体した仮設住宅の木材を再利用しています。式では入居者代表の武内正則さん、猪股慶蔵県会津若松建設事務所長、渡辺利綱町長らがテープカットして完成を祝いました。同団地への入居は9月1日に開始されました。問い合わせは県復興公営住宅入居支援センター ☎024(522)3320へ。



テープカットする出席者



廃棄物の仮設焼却施設が着工

町内の津波によるがれきや家屋解体、片付けで出た廃棄物などを処理する環境省の仮設焼却施設の起工式が、9月13日に東工業団地内の町有地で行われました。この施設は廃棄物を5分の1〜20分の1に減容化するもので、平成30年3月の運営開始を予定しています。運転開始後は1日200tを焼却処理して平成34年3月までに処理を終える予定です。式には環境省や受注者の三菱・鹿島共同企業体の関係者、町からは町長、議長、行政区長が出席し、渡辺利綱町長らがくわ入れを行いました。



くわ入れする出席者



見舞金を届けたメンバー

関東のツーリング団体、6回目の訪問

関東のツーリング愛好家団体「群嶺飛通輪颯隊（ぐればいとうりんぐたい）」は9月13日、町役場会津若松出張所を訪れ、町への見舞金を届けてくださいました。同団体の寄付は今回で6回目です。メンバーが経営する飲食店に募金箱を置くなどして寄付を集め、復興祈願ツーリングで来県して届けてくださいました。今回は16人が参加。岡田博樹代表は「メンバーの楽しみにもなっており、長く続けて少しでも復興に役立てばと思う」と話しました。

2つのイベントで蒔絵体験

町地域包括支援センター主催の蒔絵体験が8月19日と26日、町役場会津若松出張所のおくまサロンゆつくりすつぺで相次いで行われました。60歳以上の男性を対象とした8月19日の「男塾」ではお盆に、60歳以上の男女を対象とした26日の「のほんクラブ」では手鏡にそれぞれ絵付けをしました。蒔絵は漆器の表面に漆で絵や文様を描く漆工芸技法の一つです。今回はカシューという塗料を使い、自由に絵を描きました。繊細な線



男塾の蒔絵体験



のほんクラブの蒔絵体験

を描く作業に、皆さん真剣な表情。参加者の皆さんは季節の花や起き上がり小法師など思い思いの絵付けをしました。色とりどりの蒔絵粉でグラデーションを表現し、華やかに仕上げてくださいました。自分だけの作品が完成し「毎日使いたい」と話したり「大切に使用していきたい」と使い方に思いを巡らせたりしていました。



がれきを捜索する参加者

震災から5年半、熊川で一斉捜索

東日本大震災からちょうど5年半となった9月11日、町内の熊川海水浴場近くで行方不明者の一斉捜索が行われました。警察、消防関係者ら約30人が参加。双葉警察署で出動式を行い、席上、黙とうを捧げて亡くなられた方の冥福を祈りました。その後、同海水浴場に移動してがれきを調べました。約4時間にわたって遺留品がないか探しましたが、この日、行方不明者に関するものは見つかりませんでした。

大熊中に絵画作品寄贈

二紀会会員の画家馬場泰さんが9月8日、大熊中に絵画を寄贈してくださいました。「日ごろから頑張っている大熊中生のために」と、同校学校評議員の宗田充さんの仲介で実現しました。いただいた作品は「ぼくの絵日記2004『風雷神A』」。馬場さんは全校生を前に講演し「やめることは簡単で、続けることは難しい。しかし続けることが正しいことのほうが多い」と諦めないことの大切さを伝えていました。作品は同校の廊下に展示されています。



作品を寄贈した馬場さん(左)



稚児鹿舞を披露したメンバー

イベントで熊川稚児鹿舞を披露

熊川稚児鹿舞保存会はこの夏、伝統芸能を紹介する県内外のイベントに出演し、町の伝統芸能を披露しました。7月31日は秋田県仙北市で開かれた「青少年東北民俗芸能の祭典2016」に、東北各県の団体とともに出演。笛と太鼓に合わせて舞いを繰り広げました。8月21日には会津若松市で開かれた「わ」で奏でる東日本応援コンサート2016 in会津」に特別出演し、観客から大きな拍手を浴びました。

ねりんピック出場の伊藤さん激励

ねりんピック長崎2016卓球交流大会に出場する伊藤昌夫さんが9月15日、町役場会津若松出張所で渡辺利綱町長に出場を報告しました。競技歴50年以上の伊藤さんは、県ラージボール卓球協会の推薦で男女6人の本県代表メンバーに選ばれました。同大会は初出場で「大熊は元気だと、しっかりアピールしていきたい」と述べました。渡辺町長は「勝敗だけでなく楽しんできて」と激励しました。大会は10月15日から17日まで、長崎県大村市で開かれます。



健闘を誓った伊藤さん(左)

おおくまふれあい通信

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大熊町は全町避難を余儀なくされ、私たちは今も、全国各地に分散して不自由な生活を強いられています。

長期化している避難生活、先行き不透明な状況の中で、ふるさと「おおくま」に対してどのような想いを抱いているのか、直接避難先へ訪問してインタビュー取材を行い、本紙に掲載させていただきます。

「絆おおくまふれあい通信」を通して届けられた想いを共有し、ふるさと「おおくま」と皆さまを「絆～きずな～」でつないでいくことができれば幸いです。

※株式会社鹿島印刷所(南相馬市)の記者が避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。
※掲載する文章は、インタビューした内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はございません。



いわき市

しょうじ

まさこ

東海林 雅子さん

自宅は小入野区。

夫(故人)の転勤により、東北各地に転居したが、夫の退職後は、終の棲家として、大熊で生活していた。

現在、大熊町相馬流れ山踊り保存会の会長を務めている。今年の相馬野馬追祭では、6年ぶりに相馬流れ山踊りを担当した。

国道6号線が未舗装でカーブが多かった時代を知っているという方は、おそらく現在五十歳代以上の世代の方だと思えます。若い方々には信じられないかもしれませんが、私が、今のように全線で舗装され、ほぼ直線ルートになってから三十数年しか経っていません。私の夫(故人)は、建設省(当時)に勤務し、昭和35～45年にかけて同国道の改良工事を担当していました。結婚後、転勤で東北地方7カ所を回りましたが、6号線に関する事業は、夫が30年間の職中に最も注力した仕事だったと思います。

現在と違い、公務員であっても、直接仕事に関わりのない家族の日常生活での振る舞いが、ある種の評判のようなかたちで仕事に影響することもあった時代でした。私は当町出身という立場もあり、単に夫の仕事がうまくいってほしいというだけでなく、故郷の発展を願い、地域の皆さんとのかかわり、特に行政区や婦人会をはじめとする地域活動に積極的に参加してきました。

そうした中で約20年前、相馬野馬追祭で、当町から出陣した騎馬隊が凱旋するとき、そのねぎらいと出陣への感謝を兼ね、踊りを披露しようと始まったのが相馬流れ山踊り保存会で、そのメンバーに加わりました。その後、雲雀ヶ原祭場地で、各郷が持ち回りで披露する場に参加するようになりました。原発事故による避難後、町民が各地に離散する中、今年、標葉郷が雲雀ヶ原祭場地で踊りを披露する順番になりました。平成22年以来、6年ぶりとなりましたが、大熊・双葉両町とも、全町民が各地で避難生活を送っているため、合同練習は3回だけでした。練習では、お互いの無事と再会を喜び合うとともに、踊りの要点等を確認し合いました。7月24日、無事お披露目となりました。猛暑の中でしたが、踊りを終えたときには、観客の皆さんから大きな拍手をいただくことができました。

「絆おおくまふれあい通信」で、あなたの想いを伝えてみませんか？

絆おおくまふれあい通信では、避難されている皆さまへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難先での活動や避難生活で感じていることなど、あなたの想いをこのコーナーでお話してください。大熊町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

応募先

大熊町役場 会津若松出張所 総務課秘書広聴係
電話：0120-26-3844 FAX：0242-26-3794
E-mail：somu@town.okuma.fukushima.jp

きずな 絆

学校で帰りの会を行っていたとき大地震に遭いました。初めのうちは、隣の教室や廊下で、誰かがドンドンと飛んだり跳ねたりしているのかと思っていました。しかしすぐに、座っている椅子や机ごと動かされるほど大きな揺れになり、怖くなってしまいました。揺れが収まり、先生の誘導で校庭に出ましたが、教室を出た後も、最初ほどではありませんでしたが、揺れが続いていたため、校舎の外では、あわてず、じっとしているようにしました。

しばらくして、迎えに来た祖父と帰宅しましたが、自宅内は家具が倒れ、割れた食器などが散乱していて、2階にある自分の部屋に入ることもできませんでした。夕方、家族が全員そろってから町民体育館に避難しましたが、祖父は自宅が心配だからと一人で戻りました。

翌朝、避難指示で大熊を離れ、町外の避難所で数日過ごした後新潟県に向かいました。4月、4年生の新学期から新潟の小学校に通い始めましたが、すぐに会津若松市で生活することになり、その6月、若松市内に開校していた熊町小学校に転校しました。同じ福島県内でも、海がなく、夏は暑く、冬は寒くて雪が降るなど、大熊とは正反対の環境に驚きました。同じように大熊から避難した人たちから、冬の雪や凍結に耐えられないとの声を聞きますが、私はそれほどでもなく感じています。

避難を始めてから5年半以上が経ちました。当初は何も分からない子どもでしたが、今年、中学3年生になりました。時間が経っても大熊で過ごした楽しかった日々を思い出すことがよくあります。今でも大熊に戻りたいという気持ちに変わりはありません。

夏休みが終わり、中学校生活も残すところ約半年になりました。二ノ部も引退し、高校受験に向けて本格的に勉強する日々が続いています。あまり勉強は得意ではありませんが、社会や美術などには興味を持って取り組んでいます。

現在、農業高校への進学を希望しています。避難前まで、祖父が農作業に汗を流し、おいしい野菜や米をたくさん作ってくれていました。私も将来、大熊に戻れるようになったら、田畑を耕し、原発事故前のように緑豊かな故郷にしたいと思います。



会津若松市

さかもと まさゆき
坂本 真之さん

自宅は熊川区。
震災当時は熊町小学校3年生で、現在は大熊中学校3年生。

避難以降も、大熊での日々を思い出すことが多く、特に、祖父が農作業に汗を流す姿が印象に残っているという。

教えておおちゃん

放射性物質



Part18・セシウムは土壌にどれくらい染みこんでいるの？

大熊町では、平成25年度より町内の土壌や河川水等の放射能分析を行っています。今回は、平成27年度の測定結果を紹介します。

土壌に含まれている放射性セシウムは、5年経過してどうなっているのでしょうか？
地表面にあった放射性セシウムは、風や雨によってある程度は流されていると同時に、雨水と共に土壌の奥深くに染み込んでいっていると思いませんか？

それでは、実際にどの程度の放射性セシウムが土壌に染み込んでいるのでしょうか？
下の表は、深さごとにどの程度のセシウムが含まれているか、3年間にわたる測定結果を示しています。

セシウム 134

単位：Bq/kg

	表層	表層～5cm	10-15cm	20-25cm	25-30cm
25年度	50000	35000	6700	1100	-
26年度	49000	32000	2700	420	-
27年度	16000	580	220	150	110

セシウム 137

単位：Bq/kg

	表層	表層～5cm	10-15cm	20-25cm	25-30cm
25年度	120000	86000	16000	2500	-
26年度	140000	91000	7500	1200	-
27年度	69000	2400	1100	470	340

このデータは、夫沢字中央台の梨畑での継続的な測定を行った結果です。ただし、全く同一の場所からは採取できないので、誤差も大きいことをご理解ください。

最初に25年度と26年度の表層に近い部分に含まれるセシウムはほとんど変わらないことが分かります。しかし、深さ10cm以上のデータをみると、1年経過後には大きく減少しています。

次に27年度の結果を見ると、土壌の深いところまで浸透しているようですが、深さ10cmを超えたあたりから含まれるセシウムはとても低い値になっています。

この結果の評価はとても難しいのですが、セシウムは土壌中に深く浸透していくわけではなく、ほとんどが表層に近いところに残ったままであるということを示していると思われる。表層に降り積もったセシウムは地下深くに浸透してはいかず、雨水等で流されたり、風に飛ばされたりすることで土壌に含まれる濃度が下がっていると考えます。それらに加えて、放射性物質には半減期というものもあり、自然に減少しています。特に、セシウム134は2年で最初の量の約半分になります。そのため、半減期の影響をほとんど受けないセシウム137だけで比較してみると、時間の経過とともに明らかに減少しているのが分かります。

まだまだ、分からない部分も多いので、この測定を継続的に行い、経過を観察していきます。

ここがポイント

5年が経過しても、除染を行っていない場所の土壌の表層には高い濃度の放射性セシウムが含まれています。

しかし、時間の経過と共に土壌に含まれる放射能は減少しているのは間違いないようです。

加えて、深さが10cmを超えると土壌に含まれる放射性物質は大きく減少していることが分かります。

現在行われている除染では、表土から5cm以上の剥ぎ取りを行っているので、土壌に含まれるほとんどのセシウムが除去できていると考えます。

今回測定したのは梨畑です。土壌の固さや含まれる成分等（例：粘土質等や表層の状態）によっても大きく結果は変わると思います。

できる限り同一地点で測定を行い、経過を観察していきます。

町政懇談会を開催します

町では、下記のとおり町政懇談会を開催します。町の復興状況や各課事業の進捗よくについて約30分説明した後、質疑応答を行います。皆さまのご意見を広くお聞きし、今後の町政に反映させていきたいと考えています。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日	開催時間	開催地	会場
10月14日（金）	午後2時～午後4時	郡山市	ビッグパレットふくしま プレゼンテーションルーム (郡山市南二丁目52)
10月16日（日）	午後1時30分～ 午後3時30分	いわき市	いわき明星大学 AV大講義室 (いわき市中央台飯野5-5-1)
10月17日（月）	午後1時30分～ 午後3時30分	水戸市	茨城県産業会館 研修室 (茨城県水戸市桜川2-2-35)
10月21日（金）	午後1時30分～ 午後3時30分	柏崎市	柏崎市文化会館アルフォーレ 会議室 (新潟県柏崎市日石町4-32)
10月22日（土）	午前10時～正午	東京都	全国町村会館 ホールB (東京都千代田区永田町1-11-35)
10月22日（土）	午後3時～午後5時	福島市	ホテル福島グリーンパレス 東の間 (福島市太田町13-53)
10月24日（月）	午後2時～午後4時	会津若松市	アピオスペース 展示ホール (会津若松市インター西90)
10月25日（火）	午後1時30分～ 午後3時30分	南相馬市	市民情報交流センター 大会議室 (南相馬市原町区旭町二丁目7-1)
10月26日（水）	午前10時～正午	仙台市	仙都会館 会議室5F-B (宮城県仙台市青葉区中央二丁目2-10)

※お願い

仙台会場には駐車場がありません。また、その他の会場でも駐車場には限りがありますので、相乗りでのご来場や公共交通機関のご利用にご協力ください。会場によっては、周辺の有料駐車場をご利用いただく場合もございますのでご了承ください。

問 大熊町役場会津若松出張所 総務課 秘書広聴係

平成28年度10月、11月の 一時立入りのご案内

一時立入りを実施する際には事前予約が必要となりますので、実施スケジュールをご確認のうえ、コールセンターへお電話でお申し込みください。

(平成28年度から電話番号が変わっています。ご注意ください。)

※後期（10～3月分）の日程を各世帯主さまへ個別に案内文書を発送しています。

※実施スケジュールや最新の予約状況は、専用HP（<http://www.ichijitachiiri.com>）でご覧いただけます。

※立入り当日は**必ず**中継基地で受付を行ってください。中継基地にて、**通行証**、個人線量計、防護装備等をお渡します。

※お帰りの際には、中継基地にこれらを返却していただくとともに、スクリーニングを受けていただきます。

なお、マイカーによる立入りは、**立入り希望日前日の20:00（土日・祝日は17:00）まで**にお申し込みください（**予約がない方の立入りは認められません**）。また、立入り日当日の受付はできません。

また、バスによる立入りは、**各月のバス立入り初日の1か月前まで**にお申し込みください。

【一時立入り受付コールセンター】

●電話番号：**0120-461-362（フリーダイヤル）**

●予約受付時間：**平日8:00～20:00、土日・祝日8:00～17:00**

- ・平成28年度から電話番号が変わっています。ご注意ください。
- ・お盆・お彼岸などは、立入りの安全確保等の観点から、基地ごとの受付上限世帯数を設けさせていただくことがあります。専用HP等でご確認ください。
- ・公益一時立入りの受付・お問い合わせは、これまでどおり環境対策課にご連絡ください。
- ・資料の送付先を変更する場合は、必ずコールセンターに変更内容をご連絡ください。

予約時には問い合わせ番号をお伝えいただくと手続きがスムーズに進みます。問い合わせ番号は各世帯固有の番号となっています。

※立入り休止日にやむを得ない事情（命日による墓参立入等）により立入りを希望する場合は環境対策課へ直接ご相談願います。

☎大熊町役場いわき出張所 環境対策課

10、11月の一時立入りスケジュール（マイカー）

【注意】気象状況により、やむを得ず一時立入りを中止することがあります。

一時立入り実施スケジュール【平成28年10月分】

□…マイカー立入り、■…バス立入り、■…立入り休止

月		平成28年10月																														
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1	津島活性化センター スクリーニング場																															
2	加倉 スクリーニング場																															
3	高瀬 スクリーニング場																															
4	中屋敷 スクリーニング場																															
5	大川原 スクリーニング場																															
6	高津戸 スクリーニング場																															
7	毛萱・波倉 スクリーニング場																															

一時立入り実施スケジュール【平成28年11月分】

□…マイカー立入り、■…バス立入り、■…立入り休止

月		平成28年11月																														
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
曜日		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
1	津島活性化センター スクリーニング場																															
2	加倉 スクリーニング場																															
3	高瀬 スクリーニング場																															
4	中屋敷 スクリーニング場																															
5	大川原 スクリーニング場																															
6	高津戸 スクリーニング場																															
7	毛萱・波倉 スクリーニング場																															

一時立入りスケジュール（バス）

バス立入り日	年	平成28年				平成29年		
	月	11月		12月		3月		
	日	18日	19日	16日	17日	17日	18日	
	曜日	金	土	金	土	金	土	
	毛萱・波倉 スクリーニング場	大熊町	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯
	申し込み締切日		10月17日(月)		11月15日(火)		2月16日(木)	

「ふるさとまつりinいわき」を開催します

「大熊町ふるさとまつりinいわき」を10月29日（土）に開催します。

人気芸人によるお笑いライブやふれあいコンサートなど皆さんに楽しんでいただけるイベントを準備しました。今年はフラガールズ甲子園で最優秀賞に輝いた平商業高校フラダンス愛好会の皆さんが出演してくれます！

また、お子さんから大人まで楽しめるワンちゃんたちのパフォーマンス「わんわん大サーカス」もやってきます。ご家族でお楽しみください。

※当日は、会場周辺の臨時駐車場からシャトルバスを運行します。交通誘導員の指示に従って駐車してください。臨時駐車場は数に限りがあり、混雑が予想されますので、お車で越すの際は乗り合わせにご協力をお願いします。

時 10月29日（土） 午前10時～午後3時

- ・午前10時 開会式
- ・午前10時30分
平商業高校フラダンス愛好会
- ・午前11時10分
わんわん大サーカス（1回目）
- ・午前11時50分 町民芸能発表



谷本賢一郎



ダンディ坂野

- ・午後0時40分
お笑い芸人ライブ（ダンディ坂野）
- ・午後1時30分
ふれあいコンサート（谷本賢一郎）
- ・午後2時30分
わんわん大サーカス（2回目）
- ・午後3時 終了

※ステージイベントの内容及び時間に変更になる場合がありますので予めご了承ください。

場 大熊町役場いわき出張所東側駐車場
（いわき市好間工業団地1-43）

※臨時駐車場

- ・(株)エイブル様駐車場
- ・(株)アイシーエレクトロニクス様駐車場
- ・好間工業団地第一応急仮設住宅（一部）

問 大熊町観光協会（大熊町商工会内）

☎ 080（1662）1193

☎ 080（1662）1194

※鎌倉駅東口と店周辺でおおちゃん、くうちゃんのうちわを持ったスタッフが道案内を行います。

費 大人 2,000円、小学生 1,000円（お子様メニュー）

内 相模湾でとれた魚や鎌倉野菜を使った和食御膳を食べながら、自由歓談会！

役場職員も参加します♪

期 10月24日（月）まで

申問 大熊町コミュニティ支援広域事務所

（電話受付時間：平日午前10時～午後4時）

☎ 0246-88-9317 FAX 0246-88-9318

✉ kanto@town-okuma.jp

当日連絡先 ☎ 070-5074-7457（担当：大熊あゆ美）



町民交流会を開催します

今年も日本赤十字社福島県支部では、震災前の地域住民のつながりを蘇らせる機会として、町民同士の交歓交流会を開催します。ぜひご参加ください。

時 11月8日(火) 午前11時～午後3時

場 飯坂温泉「ホテル聚楽」

(福島市飯坂町西滝ノ町27)

☎ 024 (541) 2501

対 大熊町民

定 180人(先着順。定員となり次第受付終了)

内 大熊町民同士の交歓交流、バイキングによる昼食、温泉入浴など、赤十字奉仕団による支援活動

費 無料。バス代、昼食(アルコール類を除く)、入浴料は主催者負担

※バス乗降場所までの交通費は個人負担

期 10月6日(木)～10月17日(月)

午前8時30分～午後5時(土・日・祝日を除く)

問 大熊町役場会津若松出張所 生活支援課

◆ **申込方法**

電話および窓口で受け付け

◆ **申込先**

大熊町役場会津若松出張所 生活支援課

※申込時に、参加者各々の氏名、年齢、大熊町住所、避難先住所、連絡先電話番号およびバス乗降場所をお伝えください。

◆ **その他**

会場に自家用車などで直接集合する場合は

ご相談ください。

◆ **主催**・日本赤十字社福島県支部
共催・大熊町・大熊町社会福祉協議会
協力・赤十字奉仕団等

◆ **バス乗降場所**

会津地区	大熊町の各応急仮設住宅、復興公営住宅(年貢町団地)、J R会津若松駅、町役場会津若松出張所
浜通り地区	大熊町の各応急仮設住宅、復興公営住宅(下神白団地)、J R相馬駅、J R原ノ町駅、J Rいわき駅、J R泉駅
中通り地区	復興公営住宅(東原団地)、J R福島駅、J R郡山駅、町役場中通り連絡事務所

※バスの乗降時間等は後日、直接お知らせします。

～鎌倉で秋の味覚を感じながら、
大熊のみんなと楽しいひとときを過ごそう♪～



11月5日(土) おおくま交流会in鎌倉

時 午前11時30分～午後1時30分(午前11時開場)

場 鎌倉和食 楠の木(神奈川県鎌倉市小町2丁目6-5)

〈交通アクセス〉

◇ **電車でお越しの場合**：鎌倉駅東口から徒歩5分

小町通りを直進し、「鎌倉壱番屋」(せんべい屋)の角を左折し、50m奥が会場です。

～この機会に“自分のカラダ”と向き合ってみませんか？～

各健診日程

【大熊町主催の健診】



◎総合健診◎

地 区	月 日	受付時間	場 所
会津若松市	10月17日（月）	8:00～10:00	会津アピオスペース 展示ホール
	10月18日（火）		
	10月19日（水）		
いわき市	10月20日（木）	9:30～11:30	いわき・ら・ら・ミュウ 2階研修室
	10月21日（金）	9:30～11:30	
	10月22日（土）	8:00～10:30	大熊町役場いわき出張所
	10月23日（日）	8:00～10:30	
	10月26日（水）	9:30～11:30	いわき新舞子ハイツ
	10月27日（木）	9:30～11:30	グランパルティいわき（※平の結婚式場です。）
	10月28日（金）	9:30～11:30	
郡 山 市	10月24日（月）	9:30～11:00	福島県農業総合センター 大会議室・多目的ホール
	10月25日（火）		

◎乳がん検診◎

11月より順次開始予定となっております。意向調査等にて集団検診を希望された方に後日案内等を発送させていただきます。（対象者は平成29年3月31日時点で40歳以上の偶数年齢の女性です。）

◎子宮がん検診◎

町が行っている集団検診は終了しましたが医療機関による施設検診を、いわき市では10月まで、会津若松市・郡山市・福島市・相馬地区では12月まで受診できます。ご希望の方はお問い合わせください。

※施設検診では骨粗しょう症検査は行っていません。

【県内他市町村】

それぞれの市町村と調整を行い、順次健診の案内をお送りしています。ご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

【県外】

町が公益財団法人結核予防会に委託し、避難先の医療機関（結核予防会が契約している医療機関）にて受診できます。

案内については、県が実施する「県民健康調査」と同時に、希望の有無に関わらず県外に避難されている方（避難先を県外に登録されている方）全員にお送りしています。（7月に発送済）

受診期間が1月31日までですので、早めに予約をし、受診してください。（申込期間は1月10日まで）

～県民健康調査とは～

長期にわたる県民の皆様の健康管理を目的として、これまで健診を受ける機会がなかった方に対して、新たに健診の機会を設けるため福島県が実施しています。

通常の町実施の健診では検査しない項目を上乗せし行っています。

問大熊町役場いわき出張所健康介護課 保健衛生係
会津若松出張所福祉課 健康介護係

平成28年度大熊町総合健診



震災後「体重が増えてしまった」、「血圧が高くなった」等の声をよく耳にします。健診を受けていない方や受けてもそのままに・・・なんて方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？

この機会に自分の健康状態を確認し、生活習慣を見直してみませんか？

【特定健診を受けましょう】

特定健診は40歳～74歳の方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健診です。生活習慣病である糖尿病・高血圧・高脂血症などは早期の段階ではほとんど自覚症状がないため、静かに進行していきます。そのまま放置すると、心疾患や脳血管疾患など命に関わる重大な病気を引き起こす危険が増大します。

また、健診後には特定保健指導を活用して生活習慣病を予防しましょう。

【がん検診を受けましょう】

「がん」は日本人の死因の第1位です。2人に1人が「がん」にかかり、3人に1人が「がん」で亡くなっています。

しかし、早期発見・早期治療ができれば生存率を高めることができます。

【大熊町実施の健診内容】

※対象年齢とは平成29年3月31日時点での年齢です。ただし、後期高齢者健診のみ、健診日に75歳を迎えている方が対象となります

健(検)診名	対象者および対象年齢	内 容
一般健診 (特定健診・後期高齢者健診・ 県民健康調査) ※特定健診・後期高齢者健診 を受診した方は県民健康調 査の「健康診査」同時に実 施したことになります	※保険の区分で呼び方が変わりますが、 内容はほぼ同じです。 【特定健診】 ・40歳～74歳の国保加入者 ・40歳～74歳の社会保険の被扶養者 (社会保険の被扶養者は受診券が必要 です) 【後期高齢者健診】 ・75歳以上の後期高齢者医療保険加入者 【県民健康調査】 ・20歳～39歳の方	身長・体重測定、尿、血圧、 血液、眼底、心電図、腹囲測定、 尿中塩分量測定等 ◎40歳～74歳の社会保険(本人) の方は町が実施する特定健診を 受けることはできませんが、 がん検診受診の方に限り「県民 健康調査」を同時に受けること ができます。
胸部検診(肺がん検診)	40歳以上 (65歳以上の方：結核検診含む)	胸部X線間接撮影 (レントゲン)
胃がん検診	20歳以上	バリウムX線撮影
大腸がん検診	20歳以上	便潜血反応検査(2日間)
肺がん検診(喀痰)	40歳以上	喀痰検査(3日間)
前立腺がん検診	50歳以上の男性	血液検査
肝炎ウイルス検査	40歳以上の未受診の方	血液検査
歯周病検診	20歳以上	だ液検査
胃がんリスク検診	40歳以上の未受診の方 ※胃がんリスク検診のみの受診はできま せん。	血液検査

インフルエンザ予防接種の費用を助成します

インフルエンザ予防接種について、高齢者とお子さんに対して予防接種費用の助成を行います。

詳しくは次の通りとなりますので、体調の良いときに早めに接種しましょう。

1. 季節性（高齢者）インフルエンザ（65歳以上の方に個別通知します。）

対象者	<ul style="list-style-type: none"> 接種日に年齢が65歳以上の希望者 60歳以上65歳未満の方で心臓やじん臓・呼吸器に重い病気のある方の希望者、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方の希望者（障がい者手帳1級程度の方）
接種対象期間	平成28年10月1日（土）～12月31日（土）まで
接種回数	1回のみ対象になります。
料金	対象者は無料です。
接種場所	各医療機関（接種の際は必ず予約を入れてください）
接種方法	県内 <ul style="list-style-type: none"> 予診票をお送りします。直接医療機関で予約し接種してください。いわき市は10月15日から、会津若松市は11月1日から、郡山市は10月11日からの接種になります。（開始時期は各地域、医療機関によって異なります。電話等にて確認して接種してください）
	県外 <ul style="list-style-type: none"> 避難先登録市区町村の予防接種担当課に連絡して、接種手続きをしてください。 料金がかかった場合は、接種料金を還付します。その場合は、助成申請書・領収書（原本）・予診票（コピー）の3点を下記係まで提出してください。

2. 小児インフルエンザ

注：任意接種ですので自費となりますが、接種費用全額を助成します

対象者	生後6ヵ月～中学校3年生まで
接種対象期間	平成28年10月1日（土）～平成29年1月31日（火）まで
助成回数	6ヵ月～13歳未満→2回接種分（2回接種する方は、2回分まとめて申請してください。） 13歳以上～中学3年生→1回接種分
接種場所	各医療機関（接種の際は必ず予約を入れてください）
持参物	母子（親子）健康手帳、保険証、診察券
備考	予診票は医療機関の予診票をお使いください。
申請方法	<ul style="list-style-type: none"> 助成申請書は、いわき・会津若松・郡山の各事務所に備えつけてあります。郵送することもできますので、必要な方は下記までご連絡ください。（ホームページからダウンロードすることもできます） 予防接種費用を一度自己負担していただき、その後助成申請書・領収書（原本） ・予診票または母子健康手帳のコピー（接種日が記載されている部分）の3点を下記係へ提出してください。 <p>※接種終了後1ヵ月以内に助成申請の手続きをしてください。</p>

問大熊町役場いわき出張所 健康介護課 保健衛生係
会津若松出張所 福祉課 健康介護係

おたふくかぜ、ロタウイルスワクチン 4月にさかのぼって助成します

10月1日から「おたふくかぜ」、「ロタウイルスワクチン」任意接種の助成が始まります。
助成を希望される方は次の通り申請してください。

予防接種名	助成対象者	助成内容
おたふくかぜ	大熊町に住所を有する、おたふくかぜにかかったことのない満1歳から7歳未満の小学校就学前の幼児	1回×全額
ロタウイルスワクチン 1価（2回経口接種）	大熊町に住所を有する、生後6週～24週に達するまでの乳児	2回×全額
ロタウイルスワクチン 5価（3回経口接種）	大熊町に住所を有する、生後6週～32週に達するまでの乳児	3回×全額

- ◆申請方法：「任意予防接種助成金交付申請書」に必要事項を記入し、添付書類を添えて窓口または郵送してください。予防接種1種類につき、1枚の申請書が必要なためご注意ください。
- ◆申請に必要なもの：①任意予防接種助成金交付申請書②印鑑③領収書（原本）④予診票または母子健康手帳のコピー（接種日が記載されている部分）
- ◆申請場所：大熊町役場いわき出張所健康介護課、会津若松出張所福祉課

【注意】

- ・平成28年10月1日以前に予防接種を受けた方については、平成28年4月にさかのぼり助成します。
- ・接種終了後1ヵ月以内に助成申請の手続きをしてください。複数回接種する場合は、最後に接種したときから1ヵ月以内です。申請期限を過ぎると助成できない場合がありますのでご注意ください。
- ・領収書がない場合は「予防接種費用助成申請書」をご利用ください。予防接種費用助成申請書の下段「予防接種実施証明書」は医師に記入していただく必要があり、文書料金が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ・各申請書はいわき・会津若松・郡山の各事務所に備えてあります。ホームページからダウンロードすることもできます。必要な方は健康介護課または福祉課までご連絡ください。

☎大熊町役場いわき出張所 健康介護課 保健衛生係
会津若松出張所 福祉課 健康介護係

平成27年度国民健康保険医療費のまとめ

病气やけがをしたとき、安心して医療を受けられるように国民健康保険制度があります。国保加入者が納める国民健康保険税は、医療費、後期高齢者支援金、介護納付金に充てています。今回は、国保の医療費の仕組みや決算状況についてお知らせします。

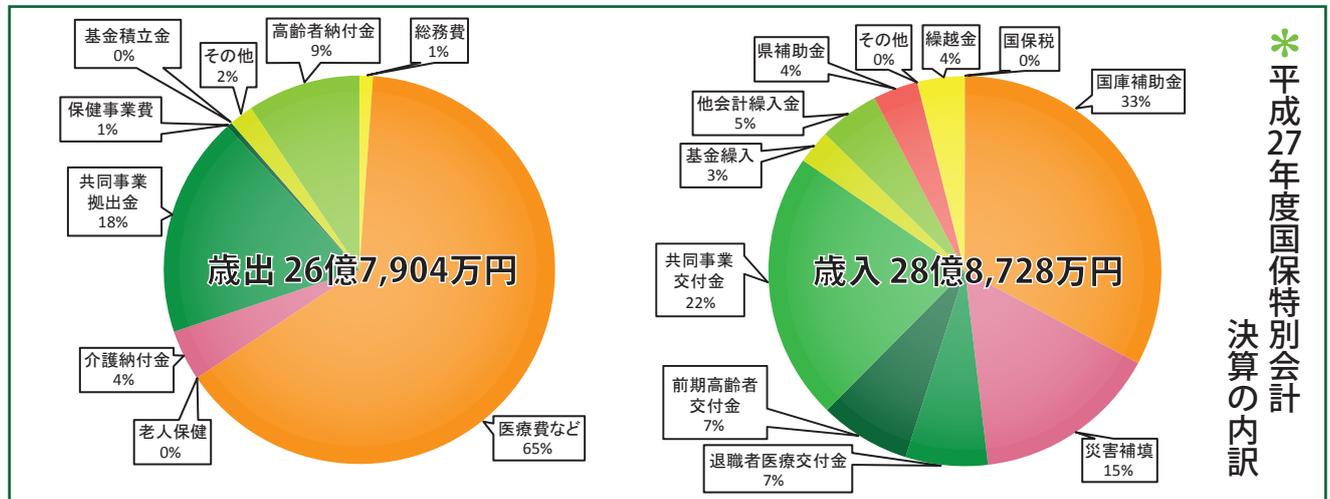
国保と医療費の仕組み

国保は、町が保険者となつて、国保加入者が医療機関を受診した際の医療費の自己負担を除いた医療費を、審査機関である国保連合会を通して医療機関に支払います（現在は10割給付です）。

総医療費は17億2716万円

平成27年度にかかった国保の総医療費で、大熊町（保険者）が医療機関などに支払った額は、17億2716万円です。

医療費を一人当たりになると42万3363円になります。これは県内市町村の中で5番目に高額な医療費です。



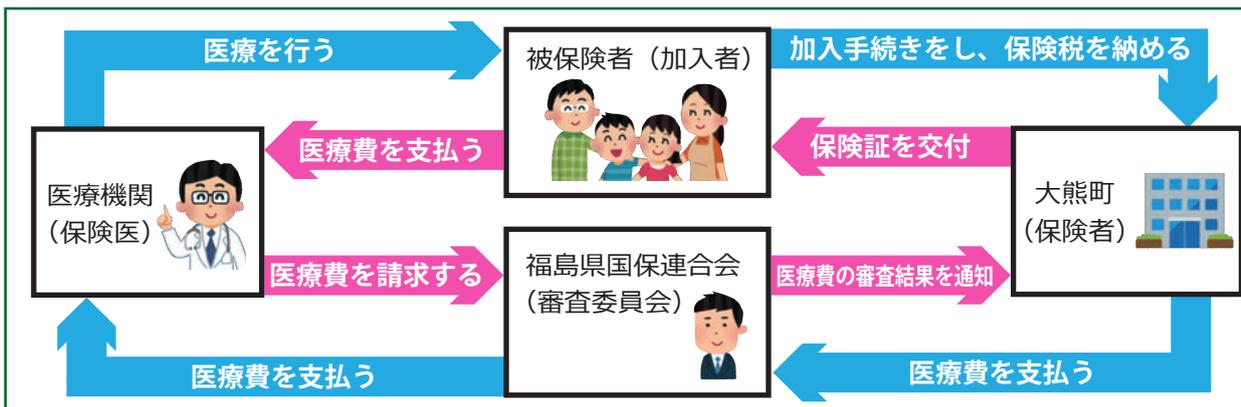
平成27年度国保特別会計 決算の内訳

後期高齢者支援金に2億4989万円を納付
75歳以上の後期高齢者医療制度では、医療費の約4割が国民健康保険や健康保険組合などの医療保険から拠出される支援金になります。

介護納付金に1億1366万円を納付
介護保険第2号被保険者数に応じて、40～64歳までの被保険者が支払うものになります。

医療費の抑制は一人ひとりの健康維持から
医療費などの財源には、国や県からの補助金などを充てていますが、その割合は決まっています。医療機関の受診が増えて医療費などが伸びると、国保税の増額につながりますので、皆さん一人ひとりが健康維持に努めて、医療費を抑制することが大切です。

国保と医療費の仕組み



健康第一 ～健康と医療費の関係～



**医療機関の適切な利用を
お願いします**

適正な受診を心がけることで医療費を節約することができます。

○はしご受診はやめましょう

同じ病気やケガで複数の医療機関を受診すると、同じような診察、検査、投薬が繰り返され、適切な医療の妨げになります。「かかりつけ医」を持ちましょう。必要に応じて専門医を紹介してもらえらるで、日頃からかかりつけ医を決めておき、いざというときに相談できるようにしておきましょう。

○時間外・休日の受診は慎重に

時間外や深夜、休日に受診すると「時間外加算」、「休日加算」などの割増料金がかかります。具合が悪いときには早めに診療時間内に受診するようにし、緊急事態以外での利用はできるだけ避けましょう。

○ジェネリック医薬品を使いましょう

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、先発医薬品の特許期間が切れてから作られた薬です。ジェネリック医薬品に変えることで薬代は大幅に安くなり、経済的な負担が減るので安心して医療を受けることができます。また、家計だけでなく、国



特定健診の様子

全体の医療費の軽減にも大きく貢献し、医療制度を守るために役立ちます。ジェネリック医薬品を希望する方は、受診や調剤の際に医師や薬剤師に相談してください。今年、ジェネリック通知を対象の皆さんにお送りしましたので参考にしてください。

○医療費通知を活用しましょう

国保加入世帯の皆さんへ1年間にかかられた医療費通知書を送りました。これを参考に各世帯で健康管理への認識を深めていただき、医療機関を適正に受診していただくようお願いいたします。

年に1度は特定健診を受けましょう

「特定健診」は40歳から74歳のすべての人(※)を対象とした生活習慣病予防のための健診です。生活習慣病の要因を作ると言われている内臓脂肪型肥満は、糖尿病、脂質異常症、高血圧などの症状を引き起こし、重症化すると脳梗塞や心筋梗塞といった病気を発症させます。

県内では、10月中旬から下記の日程により実施される総合健診(町の集団健診)で受診できます。県外では、7月下旬に送付された全国の指定医療機関で、来年の1月末まで受診できますので、この機会にぜひ健診を受けていただき、ご自身の健康のバロメーターにしてください。

※国保の方と社会保険の被扶養者(ただし受診券をお持ちの方)の方が町の総合健診で受診できます。社会保険(本人)の方は所属する会社にて受けてください

*町の総合健診日程

実施地区	日程	会場
会津若松市	10月17日(月)・18日(火)・19日(水)	会津アピオスペース
いわき市	10月20日(木)・21日(金)	いわき・ら・ら・ミュウ
	10月22日(土)・23日(日)	大熊町いわき出張所
	10月26日(水)	いわき新舞子ハイツ
	10月27日(木)・28日(金)	グランパルティいわき
郡山市	10月24日(月)・25日(火)	県農業総合センター

臨時福祉給付金等の申請期限は11月30日です

大熊町では支給対象となる可能性のある方に対し、8月26日に「平成28年度臨時福祉給付金および年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族基礎年金受給者向け）申請書（請求書）」を発送し、8月29日より受付を開始いたします。受付は11月30日までですので、申請書に必要事項を記入後、必要書類（本人確認書類等）を貼付し、返信用封筒に入れて郵送、または、各出張所窓口へ提出してください。

なお、申請状況のご確認や対象となる方のご確認、申請書の再発行等、ご不明な点は随時ご案内しますので、お気軽にお問い合わせください。

◆支給対象者

【臨時福祉給付金】

平成28年度分の住民税が課税されていない方（ただし、平成28年度分の住民税が課税されている方の扶養親族になつている方や、生活保護を受

給されている方等は除きます）
【障害・遺族基礎年金受給者向け給付金】

平成28年度臨時福祉給付金受給者の支給対象者のうち、平成28年5月分の障害基礎年金や遺族基礎年金等を受給されている方（ただし、先に実施した3万円の高齢者向け給付金を受給された方は除きます）

◆支給額

【臨時福祉給付金】

対象者1人につき3千円
【障害・遺族基礎年金受給者向け給付金】

対象者1人につき3万円
 ※それぞれ支給は1回限りです。両方に該当する方は、2つの給付金を受給できません。

◆支給時期

10月から口座振込を開始します。詳細については申請書受理、審査後にお送りする「支給決定通知書」でご確認ください。

◆よくあるご質問

Q 家族の一部のみ支給対象者となつていますが、家族全員支給対象者となりますか？

か？

A 住民税が課税されている方の被扶養者は、支給対象外となります。また、確定申告をされていないご家族

（特に扶養関係がないお子さま等）についても、支給対象外としている場合がありますので、個別詳細についてはお問い合わせください。なお、確定申告をされていない方（特に、单身世帯の方）でも支給対象外としている場合がありますので、個別詳細についてはお問い合わせください。併せて8月1日以降に修正申告をされた方につきましては、新たに対象となつた方（住民税非課税の方）には後日、電話連絡や申請書を発送しています。原則11月30日まで受け付けますので、期限内に申請してください。

A 郵送した桃色の用紙「障害・遺族基礎年金受給状況ご確認のお願い」に記載する事項に当てはまる方は、事前に支給対象者としておりませんが、年金額改定通知書等の写しの添付により、支給対象者となります。前述以外の方については、該当年金受給の支給決定日や支給開始日等（障害年金の場合は等級等）の確認が必要となるため、該当年金の受給があつても支給対象者とならない場合があります。個別詳細については、お問い合わせください。

なお、日本年金機構から支給される年金のうち、支給対象者となり得る年金コードについては、次のとおりです。
 （対象年金コード）※年金コードは、年金証書、振込通知書等に記載されています。

「0330」「0340」
 「0360」「0620」
 「1350」「2650」
 「5350」「6350」
 「1450」「2750」

10月1日から7日は「公証週間」です

「2850」「6450」
問 大熊町臨時福祉給付金コールセンター
 ☎0800(800)8951
問 大熊町役場福祉課福祉係

公証制度は、公証人が、大切な遺言・契約の公正証書の作成、確定日付の付与、定款や私文書などの認証や、国の公証に関する事務を取り扱う制度です。公正証書に書かれている内容は、裁判その他の面で、高い証拠力が与えられます。また、公正証書には「執行力」があり、金銭に関わる契約で相手が約束に反して金銭の支払いをしなかった場合、裁判抜きで相手の財産に対し強制執行ができます。遺産相続、任意後見契約、金銭貸借、不動産貸借、離婚に際しての慰謝料、養育費などの問題は、後々にもめごとを引き起こしがちです。そんなとき遺言や当事者間の取り決めを公正証書にしておけば、トラブルを防止し、権利や財



役場に教えてね!

お引っ越し される方へ



役場に届け出していた避難先を変更される際は、新しい避難先をお知らせください。届け出は会津若松出張所住民課、いわき出張所、中通り連絡事務所の各窓口で受け付けています。手軽にできる郵送や電話での届け出も受け付けています。

◆郵送の場合

役場にある「避難住民届」(町公式ホームページからもダウンロードできます)を記入して送るか、次の項目を記載したメモを送ってください。

1. 記入者氏名
2. 大熊町の住所
3. 対象者の氏名、生年月日
4. 避難先住所
5. 避難先における滞在開始日
(住み始めた日)
6. 電話番号および電話の所有者名
7. 広報おおくま送付希望の有無

◆電話の場合

会津若松出張所住民課までお電話ください。職員が必要事項をお尋ねします。

☎ 大熊町役場会津若松出張所
住民課 避難者名簿係

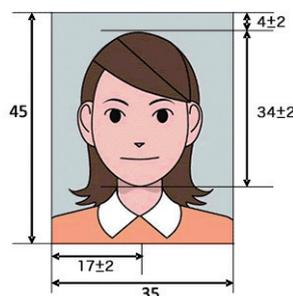
マイナンバーカードの顔写真にご注意ください

昨年10月5日のマイナンバー法施行から、ほぼ1年が経ちました。大熊町では、町民の約15%の方に申請をいただいています。
現在は、申請から約1ヶ月

産を守ることができません。相談は無料です。お気軽にご相談ください。
☎ 会津若松公証役場
0242(37)1955

でマイナンバーカードが作成されています。
マイナンバーカードの申請後2ヶ月以上経過しているのに連絡がない方、個人番号カード交付申請書受付センターより連絡があったが対応方法について分からない方は、町役場会津若松出張所住民課までご相談ください。
顔写真の不備で、マイナンバーカードの作成が中断されているケースがあるようです。これから申請される方は、顔写真についてご注意願います。

- ・写真は、最近6ヶ月以内に撮影したもの
- ・サイズは縦4.5cm横3.5cm。頭からあご下までが縦3.4cm程度になるよう撮影ください
- ・無帽。無背景。メガネ装着の場合は、フレームで瞳が隠れたり、レンズに色が付いていたり、光が反射して瞳が見えない写真は避けてください
- ・また今後、マイナンバーカードを各種手続きで使用する際に、コンピュータで顔認証



単位: mm

を行う機会もあると思われる。役場窓口では、同一人物と識別できる場合はカードをお渡ししていますが、顔認証の際にも同一人物と確認できるように、髪型など普段どおりの写真を使用してください。
写真の規格は図の通りです。

写真の詳しいチェックポイントにつきましては、マイナンバーカード総合サイト(<https://www.kojinbangocard.go.jp/kofushinse/checkpoint.html>)を参照ください。
☎ 大熊町役場会津若松出張所
住民課

行政相談週間
相談所を開設しま
す



町行政相談委員
佐久間国幸さん

10月17日(月)から23日(日)までの一週間は「行政相談週間」です。

行政相談は、役所(国、県及び市町村)や特殊法人等の仕事に関して、苦情や困っていること、心配なこと、分からないこと、要望したいことなどについて相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。

行政相談委員はいつでも相談に応じていますが、次の場所
所で相談所を開設しますので、お気軽にご利用ください。また、電話等で相談をしたい方は、総務課行政係へお問い合わせください。
相談は無料で、秘密は厳守します。相談所開設の日程は次の通りです。

〔会津〕

10月26日(水)

午前10時～午前11時30分

大熊町役場会津若松出張所

2階第4会議室

〔郡山〕

10月26日(水)

午後2時～午後4時

大熊町役場中通り連絡事務

所 会議室3

〔いわせ〕

10月28日(金)

午前10時～午後3時

大熊町役場いわき出張所

1階相談室

問 大熊町役場会津若松出張所

総務課行政係

奨学資金給付学生
を募集します

大熊町在住または大熊町出身の高校生(卒業生を含む)

で、有能な者であるにもかかわらず経済的理由により大学進学が困難と認められる者に奨学資金を給付(返済の必要がない)し、教育の機会均等を図る一助とすることを目的として、希望者を募集します。
期 9月26日(月)～10月31日

(月)

対平成29年度大学入学予定者

◆資格および基準

①生活の主体者が、引き続き5年以上大熊町に住所を有していること

②生計を同じくする世帯全員

の所得総額が、過去3年間それぞれ490万円以下であり、町税など滞納がない者

③在学する(していた)高等学校長の発行する大熊町給付奨学生推薦調書において、心身が健全で向学心に富み、かつ、成績平均が、総点の7割程度以上であること

④小論文および面接において成績優秀な者

◆選考

資格および基準のすべての要件を満たす者の中から若干名を教育委員会を設置する選考委員会において給付者を選定します。

◆給付額

毎月5万円(4年間)。なお初年度に限り1回、入学金

として10万円。

◆願書

大熊町役場会津若松出張所教育総務課にお申し出ください。

問 大熊町役場会津若松出張所
教育総務課

大熊中特設合唱部
・吹奏楽部の演奏
会が開かれます

大熊中学校特設合唱部と吹奏楽部では、3年生の引退記念と、卒業生や地域の音楽関係者との交流を兼ねた演奏会を開催します。

時 10月23日(日)

午後1時30分開場、午後2時開演(午後4時終演予定)

場 熊町・大野小学校体育館(旧河東三小)

(会津若松市河東町大田原村中186)

内 第1部(大熊中学校特設合唱部と卒業生演奏)

第2部(大熊中学校吹奏楽部と卒業生演奏)

第3部(会津シンフォニック・アンサンブルとの合同

演奏)

問 大熊中学校

☎ 02442(23) 7214
(酒井澄人教諭)

ふたば未来学園高
校の文化祭が開か
れます

ふたば未来学園高校の公開文化祭「双来祭」が10月30日に開かれます。テーマは「Enjoying Diversity」。多様性を楽しもうという意味です。文字通りさまざまな色が混じりあった生徒実行委員が企画する同校初の文化祭です。各クラスそれぞれの色を決めての個性あふれる企画や文化部の発表、他にもたくさんイベントが行われます。

時 10月30日(日)

午前10時～午後2時30分

場 ふたば未来学園高等学校(広野町大字下浅見川字築地12)

☎ 02440(23) 6825
(生徒会担当・佐藤)

うつを学ぶ家族の相談会公開講座

うつ病と診断され治療中の方のご家族を対象に相談会をひらきます。

「心を軽くする食事・運動」や「うつ病を抱える方との関わり方」などを一緒に学んでみませんか。

また、思うようにならないつらさ、あせり等、ひとりですら、相談してみてください。

さい。

【時内】午後1時30分～4時

【第1回】10月28日（金）

・公開講座「心を軽くする食事」
「簡単でバランスの良い献立のたて方」

講師・相双保健福祉事務所
健康増進課 管理栄養士
西畑由貴

・家族交流会

【第2回】12月19日（月）

・公開講座「心を軽くする運

復興支援バス「大東銀行～林城～七本松」線が減便になります

いわき市内で運行している復興支援バスのうち、「大東銀行～林城～七本松」線の運行日が10月1日（土）より火曜のみとなります。木曜と土曜の運行は終了となりますので、お間違いのないようにご利用ください。なお、運行時刻に変更はありません。

9月30日（金）まで

平日の火曜・木曜・土曜のみ運行（祝日の場合は運休）

10月1日（土）から

平日の火曜のみ運行（祝日の場合は運休）

問 新常磐交通いわき中央営業所

☎ 0246 (46) 0200

動」

講師・南相馬市長寿福祉課

主任作業療法士

伊賀 裕貴子

・家族交流会

【第3回】平成29年1月23日（月）

・公開講座Ⅰ「当事者の体験談」

講師・障がい者相談・地域活動支援センター「ひびき」スタッフ、当業者

・公開講座Ⅱ「うつ病を抱える方との関わり方」

講師・南相馬市立総合病院
臨床心理士 熊坂しのぶ
・家族交流会

※事前にお申し込みください
場 南相馬合同庁舎 南庁舎
4階401会議室（家族交

流会は403会議室）

対 うつ病のご家族をはじめ、誰でも参加できます。

（家族交流会は家族のみ参加可能）

費 無料

申 問 福島県相双保健福祉事務所

所 障がい者支援チーム

☎ 0244 (26) 1133

ハラスメント対応 特別相談窓口を開 設します

平成29年1月1日より法律が改正され、いわゆるマタハラなどのハラスメント防止措置が事業主に義務付けられます。また、育児休業や介護休業などが利用しやすくなります。

◇9月1日から12月28日まで

の期間、「ハラスメント対応特別相談窓口」を開設し、労働者や事業主からのマタハラなどの相談を集中的に受け付けます。

問 福島労働局「ハラスメント対応特別相談窓口」

☎ 0800(800)4611
（フリーダイヤル）

◇事業主・人事労務担当者等向けに、県内4会場で、改正法について説明会を開催します。

・10月24日（月）

いわき新舞子ハイッ

・11月1日（火）
ビッグパレットふくしま

・11月4日（金）
福島グリーンパレス

・11月18日（金）
会津アピオ

詳しくは、福島労働局ホームページ（<http://fukushima-roundoukyokujisite.mhlw.go.jp/>）をご覧ください。

問 福島労働局雇用環境・均等室

☎ 024 (536) 4609

町内で熊情報

町内の中屋敷地区で7月上旬、熊の目撃情報が寄せられました。業務や一時帰宅などで町内に立ち入る方は十分にご注意ください。

問 大熊町役場いわき出張所 産業建設課



「秋のいわきのま
ちをきれいにする
市民総ぐるみ運動」
にご協力ください

いわき市では、市民一人ひとりが自らの手でまちをきれいにすることを通じ、環境美化に対するモラルの向上を図ることを目的とし、毎年2回市民の皆さまによる清掃活動を実施しています。

いわき市に避難をされている皆さまにも当運動の趣旨をご理解いただき、お住まいの地区のいわき市住民と一体となった協働作業への積極的な参加をお願いします。

時 10月21日(金)～23日(日)

※雨天の場合は翌週へ延期

10月28日(金)～30日(日)

内 10月21日(金)・清潔な環境づくりをする日(学校や事業所周辺の清掃)

10月22日(土)・自然を美しくする日(海岸や河川の清掃)

みんなの利用する施設をきれいにする日(公園や道路の清掃)

10月23日(日)・清掃デー

(市内の全家庭周辺の清掃)

◆参加方法

(1)仮設住宅等にお住まいの方が「団体」として参加される場合

実施計画書をお住まいの地区の区長やご提出願います。(詳しくはお問い合わせください)

(2)民間借上住宅等にお住まいの方が「個人」として参加される場合

お住まいの地区の区長や行政嘱託員、隣組長等に清掃参加の意志を伝えただけで、地区の住民と一緒に作業を実施していただきます。

なお、地区の都合により作業日が異なりますので、事前に区長等にご確認願います。

また、区長等の代表者が不明な場合は、いわき市までお問い合わせください。

問い合わせ先 生活環境部

ごみ減量推進課庶務係

☎ 0246(22)7559

第15回双葉地方広域
消防職員意見発表会
が開催されます

第15回双葉地方広域消防職員意見発表会を開催します。

消防職員の「想い」「情熱」

を伝えたい。双葉郡を守るため、消防防災をテーマにした新しい発想を、若き隊員たちが提案します。

時 11月9日(水)

午後1時30分～3時

場 葛尾村民会館大ホール

内 消防職員5人による発表

費 無料

問 双葉地方広域市町村圏組合

消防本部 総務課

☎ 0240(25)8523

消防署より

平成27年中の全国の火災状況

- ① 総出火件数は39,111件です。
- ② 火災による死者は1,563人、負傷者数は6,309人です。
- ③ ②の中で住宅火災による死者数が914人です。
- ④ ③の住宅火災による死者の約7割が高齢者です。

これから空気が乾燥し、火災の発生しやすい季節となります。下記に主な出火原因と対策を記載しますので火災予防にご協力ください。

出火原因 第1位 「放火」

～対策～

- ①家のまわりに可燃物を放置しない。
- ②自動車やオートバイのカバーは防災品にする。
- ③センサーライトなどを設置し家の周囲を明るくする。
- ④ご近所との協力体制が重要です。

出火原因 第2位 「たばこ」

～対策～

- ①ポイ捨てをしない。
- ②寝たばこをしない。

- ③定期的に灰皿内の吸い殻を片付ける。
- ④吸い殻を捨てる際は、一度水に浸してから捨てる。

出火原因 第3位 「こんろ」

～対策～

- ①調理中はその場を離れない。
- ②こんろの周囲に可燃物を置かない。
- ③着衣着火を防ぐため、防災品のエプロンを使用する。
- ④こんろの周囲、グリル内は定期的に清掃する。

平成28年度全国統一防火標語

「消しましょう その火
その時 その場所で」

火事と救急は119番

<消防署連絡先>

◇浪江消防署 ☎0240-34-7360

◇富岡消防署 ☎0240-25-2119



中間貯蔵施設に係る弁護士無料相談会のご案内

町では中間貯蔵施設の建設に伴い町民の皆さまが抱える不安や諸問題に対応するため、弁護士による相談会を開催します。当該施設建設に伴う権利関係等の疑問点について、無料で相談することができます。

■相談できること■

中間貯蔵施設建設に伴う契約、地上権、相続等について※法律相談であり、補償価格に関する相談はできませんのでご了承ください

対 大熊町内の中間貯蔵施設建設予定地内に不動産（土地・建物）を所有されている方

■無料

◆相談時間

1回につき50分程度（各会場3組までの事前予約制）

申 事前予約の先着順になりますので、ご連絡をお願いします。

問 大熊町役場会津若松出張所 企画調整課

※受付時間は午前8時30分～午後5時15分（平日のみ）

◇開催場所及び開催日時

開催場所	開催日	開催時間	所在地
大熊町役場 いわき出張所	10月14日(金)	午後2時～5時	いわき市好間工業団地1-43 (相談会場：1階 相談室)
大熊町役場 会津若松出張所	10月17日(月)		会津若松市追手町2-41号 (相談会場：2階 第3会議室)
大熊町役場 中通り連絡事務所	10月19日(水)		郡山市希望ヶ丘11-10 (相談会場：1階 第1会議室)

テクノアカデミー 浜で受講生募集

福島県立テクノアカデミー浜では、高等学校等を卒業してこれから就職しようとする方のために、産業界のニーズに合致した高度な職業訓練を実施しています。

現在、受講生を募集しているコースは次の通りです。希望される方はお問い合わせください。

No.	コース名	訓練期間	委託先	募集期間	選考面接	訓練期間
いわき地区	D1 パソコン事務実践科	4か月	飛馬オープンカレッジ (小名浜教室)	9/5～10/5	10/12	10/27～2/24
	い14 パソコン基礎科 (託児付き)	3か月	飛馬オープンカレッジ (小名浜教室)	9/20～10/19	10/26	11/10～2/9
	い15 パソコン応用科	3か月	アカデミー	10/3～11/2	11/9	11/24～2/23
	い16 介護職員養成科	3か月	ニチイ学館いわき校	10/14～11/15	11/21	12/8～3/7
	い17 パソコン基礎科	3か月	アカデミー	11/11～12/12	12/19	1/12～4/11
	い18 パソコン応用科	3か月	いわきコンピュータ・カレッジ	12/6～1/26	2/2	2/16～5/15
	い19 パソコン基礎科	3か月	アカデミー	1/13～2/15	2/22	3/9～6/8

自賠責保険・共済なしでの運行は法令違反です！

問 福島県立テクノアカデミー浜
〒975-0036
南相馬市原町区菅浜字巢掛45番地の112
0244(26)1555(代)
問 いわき駐在
〒972-8312
いわき市常磐下船尾町杭出作23-32
福島県ハイテクプラザいわき技術支援センター2F
080(5730)0501
080(6292)3523
(業務携帯)

自賠責保険・共済は、万一の自動車事故の際の基本的な対人賠償を目的として、自動車損害賠償保障法に基づき、原動機付自転車を含むすべての自動車に加入が義務づけられており、自賠責保険・共済なしで運行することは法令違反ですのでご注意ください！

問 国土交通省福島運輸支局 輸送・監査部門
024(546)0343

10月は不正軽油撲滅強化月間です

県では、10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、関係団体と協力して、不正軽油の排除に取り組んでいます。

この不正軽油は、悪質な脱税行為であり、環境汚染やエンジン故障の原因、公正な市場競争の阻害、更には暴力団等の資金源にもつながります。

「不正軽油を作らない・売らない・買わない・使わない。」不正軽油の防止・撲滅には、県民の皆様のご協力と情報提供が欠かせません。不正軽油の情報提供につきましては、県庁税務課または最寄りの地方振興局県税部までご連絡ください。

問 県庁総務部税務課
024(521)7205
問 相相地方振興局県税部
0244(26)1127
souso.kenzei@pref.fukushima.lg.jp

地域包括 支援センター から

男塾 (おとこじゅく)

男性が楽しく集まる場として男塾を実施します。ぜひご参加ください。今回限りの参加も可能です。

時10月7日(金) 午前9時～正午

場おおくまサロンゆっくりすっぺ集合
(大熊町役場会津若松出張所内)

内会津まほろば街道めぐり

対60歳以上の男性

定10名 (先着順)

費無料

申電話にて

期10月6日(木)まで

問大熊町役場会津若松出張所 福祉課
健康介護係 渡辺 (悠)・新田

☎0120-26-3844



のほほんクラブ

一歩外に出て皆さんと楽しい時間を過ごしませんか？

時10月14日(金) 午前10時～正午

場おおくまサロンゆっくりすっぺ
(大熊町役場会津若松出張所内)

内つるしびなづくり (都合により、内容が変更する場合がありますので、ご了承ください。)

対60歳以上の方ならどなたでも

定20人 (先着順)

費300円

申電話にて

期10月7日(金)まで

問大熊町役場会津若松出張所 福祉課
健康介護係 渡辺 (悠)・新田

☎0120-26-3844



地域包括支援センター
ではどんな仕事を
しているの？



地域包括支援センターには社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーの3職種が配置されていて、地域に暮らす人たちの介護予防や日々の暮らしを様々な側面からサポートすることを主な役割としています。

【主な業務】

○自立した生活を支援します

- ・介護保険で要支援1・2の認定を受けた方、総合事業の対象者のプランを作成。
- ・介護予防事業の実施。

○みなさんの権利を守ります

- ・成年後見制度の活用相談。
- ・高齢者の虐待防止・相談・対応。

○総合相談

- ・介護保険や保健・福祉サービスの相談・申請
- ・認知症の介護や予防の支援

○暮らしやすい地域づくり

- ・ケアマネジャーへの助言や医療機関・行政等と連携。
- ・民生委員や地域の人と連携しながら、地域のネットワークを作ります。

介護予防事業 ウォーキング(小玉ダム)

時10月14日(金) 午前9時～午後3時

内ウォーキング (小玉ダム)

雨天時：いわき市石炭・化石館

場小玉ダム

(いわき市小川町高萩字下夕道1-39)

※送迎バスが出ます。詳しくはお問い合わせください。

対65歳以上の方 (但し、同伴者は年齢不問)

定20人【先着順】

持水分、タオル

費自費【昼食代、入場料 (雨天時)】

申電話にて

期10月7日(金)まで

問大熊町役場いわき出張所 健康介護課
地域包括支援センター (花房・浜本)

☎0120-26-5671

ほけん だより



時 10月5日(水)・18日(火)

午前9時30分～11時30分

場 いわき出張所 2階

内 自由遊び

*身長体重測定や離乳食、育児の個別相談もできます。

対 未就学児とその保護者（祖父母も歓迎）

持 水分、オムツ

申 不要

ちょこっとカフェ

～心配ごとなど、ちょこっと話をして心を軽くする…そんな場所です～

時 10月12日(水) 午後1時30分～3時

場 大熊町役場いわき出張所 2階

相談員：心のケアセンター、町保健師

申 不要

その他：個別相談も可能

問 大熊町役場いわき出張所

健康介護課 保健衛生係

ふらっとカフェ

時 10月12日(水) 午後1時30分～3時

場 大熊町役場会津若松出張所 2階

ほっとルーム

内 ハンドマッサージ

相談員：心のケアセンター、町保健師

申 不要

その他：個別相談も可能

問 大熊町役場会津若松出張所

福祉課 健康介護係



10月は乳がん月間です —日本人女性に急増中—

早期に発見し治療すれば、多くが治る病気です。現在、日本人女性12人に1人が乳がんにかかると言われ、30～50才代で動き盛りの女性の死亡原因のトップです。

生理開始後
5～7日目の時期に
(閉経後は月1回)

月に1回視て・触って セルフチェック ～ポイント～

入浴時は石けんをつけるとすべりがよくなり調べやすくなります。

〈鏡の前で〉

☆自然に立って両方の乳房に違和感はあるか？

☆両手を上下して（正面・側面・斜めなど）

形、大きさ、乳房の高さ、乳房の皮膚の一部乳頭にへこみやひきつれ、乳頭にかさぶたやただれ、異常な分泌物は？

☆乳頭を軽くつまんで、血のような分泌液は？

静かに軽く
押さえながら

〈仰向けになって〉

指をそろえて指の腹で渦巻き状に

☆乳房の内側は片側ずつ、腕を上げて

☆乳房の外側は腕を自然な位置に下げて

☆左右のわきの下のしこりは？

あれ？と思う小さな変化を見逃さずに迷わずに専門医（乳腺外来や外科）へ受診を



交流会

午後6時～ 懇親会

場 五浦温泉 五浦観光ホテル
(茨城県北茨城市大津町722)

☎0293-46-1111

※1世帯当たり何人でも参加できます。ただし、2人以上参加の場合は1人当たり3,000円の負担金をお願いします。宿泊費等の差額は交付金を活用します(当日会場にて集金します)。なお、準備の都合により、出欠確認を同封のはがきに記入し、10月10日まで返送をお願いします。

問 区長・尾内武

☎090-2273-4187

ワカサギ釣りを楽しもう♪

今年もいよいよワカサギ釣りが解禁！初心者の方もベテランの方も解禁当初のワカサギ釣りにチャレンジしませんか。

時 11月12日(土)

午前8時～午後3時(午前7時30分～受付)

場 第一ゴールドハウス目黒 松原湖店
(北塩原村大府平原1172-4)

費 道具持参4,000円、道具レンタル6,000円

期 10月11日(火)まで

※子どもの参加も大歓迎です。参加される場合は参加費が異なりますのでお問い合わせください

問 伊東康次郎(下野上3区)

☎0246-51-5423・090-9749-4370

芋煮とおにぎり昼食会

いわき北部方面に集える大熊町民同士で交流をしましょう！

～おいしい芋煮とおいしいおにぎりで昼食会！～

時 11月12日(土) 午前10時～

(調理にご参加いただける方は9時集合！)

場 久之浜・大久ふれあい館

(いわき市久之浜町久之浜字中町32番地)

費 200円

申問 大熊町復興支援員広域事務所

☎0246-88-9317 (担当：富岡)

駅前地区ゴルフ

大野1区・大野2区(駅前地区)ゴルフ交流会の季節がやってきました。芝生の上で楽しい一日を過ごしませんか。皆さまの多数の参加をお待ちしています。

なお、参加希望者は次の連絡先までお願いします。

時 11月5日(土)

交流会

集合：午前8時30分

スタート：午前9時8分

場 塩屋崎カントリークラブ

(いわき市平沼ノ内字町田279-1)

☎0246-39-2011

期 10月20日(木)まで。

※詳細は申込時に連絡します。

問 申 中里忠良

☎090-9535-8404

熊3区総会・懇親会

9月3日(土)、母畑温泉「八幡屋」にて熊3区の総会と懇親会を開催し、県内外から70人余りが参加しました。

総会では会計報告等の説明がなされ、今後の絆補助金事業の運営について意見交換しました。懇親会では近況を報告し合い、旧交を温め、再会を約束して散会しました。

(区長・藤田昭悟)



大和久区からのお願い(再)

大和久区では、今年度からの総会案内等はすべて文書で通知します。未だ連絡のない方は、平成28年10月31日までに次のいずれかの方法により避難先住所等をお知らせください。

◆官製ハガキによる連絡

避難先の郵便番号・住所・代表者名・電話番号等を記入のうえ郵送してください。

【宛先】〒971-8185 いわき市泉町3丁目1-8
事務局 佐藤修峰

◆電話による連絡

各担当地区の連絡員までお知らせください。

【連絡員】

東大和久・斉藤重征 ☎090-8423-6515

東大和久・沢内早苗 ☎090-4638-5985

西大和久・川木浩美 ☎090-5236-8955

西大和久・永岡和行 ☎090-1493-5357

問 大和久区事務局・佐藤修峰

☎090-1936-0735

●総会・懇親会の予定

時 平成29年3月26日(日)

場 スパリゾートハワイアンズ

(いわき市常磐)



おおくま町会津会

借り上げ住宅自治会「おおくま町会津会」は借り上げ住宅に避難されている町民の皆さまのための交流会を毎月第1、第3水曜日に開催しています。お気軽にご参加ください。10月の日程は次の通りです。

時 (両日とも午前10時に町役場会津若松出張所出発)

- ・5日(水) ブドウ狩り(会津若松市北会津町)
- ・19日(水) 研修旅行(日光、鬼怒川温泉)
※紅葉次第で翌週に延期する可能性があります

内 町民同士の交流、情報交換など
※随時会員を募集しています。

☎ 090-7078-2327 (山本)

ママだつてやってみ隊

大熊町のママさんサークルです。興味のある方は気分転換と一緒に楽しみませんか？

時 10月25日(火)

<集合>午前9時長原仮設または午前9時20分会津若松駅

午前9時45分 会津若松駅発

午前10時35分 湯野上温泉駅着

その後バスで移動

<帰着予定>午後3時長原仮設

内 秋の遠足

～トロッコ列車で出掛けましょう～

費 電車代、昼食代は自費

期 10月7日(金)まで

申 阿部

☎ 090-6259-7933

※平日午前10時～午後5時受付

すまいるサロン

いわき市内に避難している皆さん！お茶会「すまいるサロン」を開催します。町民であればどなたでもご参加いただけます。初めての方は、ご連絡いただければ幸いです。

時 10月24日(月) 午前10時～午後3時

大熊町いわき会

※ご都合のよい時間にお出かけください。

場 大熊町役場いわき出張所2階調理室

持 マイカップ、おむすび(昼食)

☎ 080-1830-5567 (小林)

楽しく脳トレ&ほっきめしで交流！

時 11月4日(金) 午前10時～

場 いわき市泉公民館2階

(いわき市泉町四丁目13-11)

申 不要

費 無料

※調理をお手伝いいただける方は午前9時集合♪エプロン・三角巾をお持ちください♪大熊町いわき会は会員随時募集中です。

申 会長・澤内俊昭

☎ 090-7060-9464

古滝屋温泉日帰りお茶会

いわき市内にお住まいの町民の皆さん、温泉で一日お茶を飲みながらの交流会を毎月第3水曜に行っています。ご参加をお待ちしています。

時 10月19日(水) 午前10時～午後3時

場 古滝屋

※人数がまとまれば、好間第三仮設から無料送迎バスあり

費 入浴料800円(個人負担)

※タオルや昼食は各自準備

☎ 080-6007-6824 (市川)

☎ 090-5187-2234 (堀本)

ひまわりサロン

埼玉県へ避難している皆さんへ輪になろう！ふみ出そう！ひまわりサロンのご案内です。

時 10月19日(水) 午前10時～

内 午前はおしゃべりサロン、午後はクラフトを予定しています

(ハロウィンの小物づくり)

場 やすらぎ会館

(川口市南鳩ヶ谷6-8-16)

費 100円プラス材料費100円程度

問 ひまわりの会

☎ 080-5431-0123 (島田)

夫沢2区

夫沢2区では町行政区絆維持補助金を活用し、交流会を兼ねた懇親会を開催します。多数の参加をお待ちしています。

時 10月28日(金)～29日(土)

午後3時～ チェックイン可能

大熊町の避難状況

○人口および世帯

	人口数	世帯数
平成23年3月11日時点	11,505	4,235
平成28年8月31日現在	10,703	3,887
増減	△ 802	△ 348

●避難先の状況

(平成28年9月1日現在)

都道府県	人数
海外	2
不明	3
北海道	31
青森県	31
岩手県	2
宮城県	193
秋田県	21
山形県	46
福島県	8,105
茨城県	466
栃木県	191
群馬県	86
埼玉県	397
千葉県	247
東京都	284
神奈川県	176
新潟県	230
富山県	6
石川県	14
福井県	6
山梨県	4
長野県	9
岐阜県	5
静岡県	24
愛知県	8
三重県	8
滋賀県	0
京都府	7
大阪府	19
兵庫県	6
奈良県	0
和歌山県	2
鳥取県	0
島根県	1
岡山県	2
広島県	0
山口県	2
徳島県	0
香川県	1
愛媛県	2
高知県	0
福岡県	23
佐賀県	3
長崎県	2
熊本県	0
大分県	10
宮崎県	20
鹿児島県	1
沖縄県	7
計	10,703

福島県内	人数
福島市	227
会津若松市	1,180
郡山市	1,053
いわき市	4,600
白河市	79
須賀川市	91
喜多方市	49
相馬市	100
二本松市	38
田村市	59
南相馬市	243
伊達市	11
本宮市	33
桑折町	6
国見町	2
川俣町	1
大玉村	32
鏡石町	13
天栄村	1
下郷町	0
檜枝岐村	0
只見町	0
南会津町	2
北塩原村	0
西会津町	1
磐梯町	6
猪苗代町	13
会津坂下町	20
湯川村	3
柳津町	0
三島町	1
金山町	1
昭和村	0
会津美里町	24
西郷村	19
泉崎村	13
中島村	0
矢吹町	20
棚倉町	1
矢祭町	0
塙町	4
鮫川村	0
石川町	4
玉川村	1
平田村	1
浅川町	6
古殿町	8
三春町	46
小野町	12
広野町	48
楡葉町	0
富岡町	0
川内村	9
大熊町	0
双葉町	0
浪江町	0
葛尾村	0
新地町	24
飯館村	0
計	8,105

大熊町公式サイト・ブログ大熊町

大熊町公式サイト

<http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

ブログ大熊町

<http://blog-okuma.jugem.jp/>



町公式フェイスブック

「おおくま広報室」

町公式フェイスブック「おおくま広報室」

<http://www.facebook.com/town.okuma.fukushima/>

タブレット相談室

操作や故障などタブレットの
お問い合わせはこちらまで！

0800-800-0907

通話無料(平日9:00~17:00)



こんにちは赤ちゃん

こどもの名	親の名	住所
小西凛花	守・実佳	中央台
後藤琉清	祐司・仁美	大野
石母田有都	正幸・徳子	西平
奥山蘭咲	浩・桂子	西大和久
蓮沼美杏	直樹・麻美	西大和久
井手結翔	秀幸・愛里	西大和久
坂本陸羽	翔・千織	長者原
石田龍生	幹一・教子	長者原

ご結婚おめでとう

花むこ	住所	花よめ	住所
門馬琢磨	いわき市	齋藤紗輝	北向

おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住所
木田ミツ	93歳	湯の神
加藤喜久男	84歳	大野
渡邊照子	75歳	錦台
槻林君男	82歳	新町
市村チウ	88歳	中央台

※2016年(平成28年)8月

副町長室から

吉田 淳



熊川海水浴場の思い出

子どものころ、夏休みの遊び場といえば、もっぱら熊川海水浴場でした。友人と連れ立って自転車で砂利道を進むと、熊川の河口に広がる海岸。飽きることなく水遊びではしゃぎました。カニや貝を採ったり、川の上流で牛が水を飲んでいるのを眺めたりもしました。雷が鳴ると近くにあって炭窯に身を潜めてやり過ごしました。不思議なもので、こんなおかしなことを今でも鮮明に覚えているのです。

成人して町職員になった後も、海開きやビーチバレー大会の準備に携わった関係で足を運ぶなど、何かと縁のある場所でした。私の地元・熊3区のパーベキューでも利用しました。思い出がたくさん詰まった大切な場所ですが、今はすっかり変わり果ててしまいました。

先月の広報おおくまの「おおくま点描」コーナーで、野上の一俵栗が紹介されましたが、地域で大切にされてきた大木や岩、清水などが忘れ去られようとしていることに、危機感を覚えます。言い伝えには、何らかの大切な意味が隠されているように思えてなりません。それは先人が何を信じ、何に親しみ、何をおそれてきたのか、我々のルーツを示すものだからではないでしょうか。

熊川海水浴場では壊れた防潮堤の改修が始まるうとしています。かつての風景を取り戻す努力だけではなく、消えゆく記憶を留めておくための努力も、今必要なことだと思います。

表紙の写真



スペインの方々が絵付けした起き上がり小法師24体が熊町・大野小に展示されています。同国のセビリヤ近郊コリア・デル・リオ市には約400年前、伊達政宗が派遣した慶長遣欧使節の子孫がいて「ハポン」姓を名乗っています。この方々は東北地方が東日本大震災で被害を受けたことを我が事のように悲しみ、今も3月11日には追悼の祈りをささげているそうです。小法師はハポンさんたちの趣旨に賛同した芸術家やダンサー、写真家、闘牛士、政治家などの方々が製作したものです。どれも日本の小法師とは一味違った異国情緒あふれる仕上がりですが、日本を自らのルーツと感じて活動されている姿に親近感を覚えます。

編集後記

このあいだ新年度がスタートしたと思っていたら、もう半分が過ぎてしまいました。すっかり秋ですね。会津はあつという間に冬が来るので、短い秋をいかに満喫するかが避難してからの私の課題となっています。

さて、今月の広報アンケート特集はいかがでしたか？正直、これほど多くの返信をいただけとは思っていませんでした。逆を言えば、それだけ皆さんの声を聴く機会がなかったということだと思います。町民の皆さんが声を届けたいときに、いつでも町に届けられるような体制が必要だと感じました。

採点の間では、「考えや立場が一人一人違うから100点はない」というご意見がありました。本当にその通りで、同じ事柄についてさまざまな評価をいただく中で毎日が葛藤の連続です。それでも、町民の皆さんの立場に立ち、最善の選択や工夫をして100点に近づける努力をしていくことが、伝わる広報につながると信じています(後)



クイズ「目指せ！おおくMASTER★」

おおちゃんクイズ A・明治29年4月1日に標葉郡と檜葉郡が合併して双葉郡になった

くうちゃんクイズ A・衣服を後ろ前に着ている

顔晴そう！大熊っ子！大会

町の幼稚園、小中学校合同の運動会「顔晴（がんばん）ろう！大熊っ子！大会」が9月17日、会津若松市河東町の熊町・大野小学校庭で開かれ、恒例の大イベントに歓声を上げました。

今年に合わせて70人の子どもが参加。徒競走や応援合戦、大玉転がしなどで元気な姿を披露しました。大熊盆踊りでは小学6年生が笛や太鼓の演奏を担当し、踊りの輪に花を添えました。保護者参加の種目もあって、会場を盛り上げました。

熊本県の学生ボランティア団体、キッズサポート熊もたちも訪れ、古里の絆を確かめました。



大熊町関連施設お問い合わせ先

大熊町役場

- ・会津若松出張所
(総務課、企画調整課、税務課、住民課、福祉課、生活支援課、出納室、教育総務課、議会事務局)
〒965-0873 会津若松市追手町 2-41
☎0120-26-3844 (フリーダイヤル)
- ・いわき出張所
(健康介護課、環境対策課、産業建設課、復興事業課、生活支援係、庶務係)
〒970-1144 いわき市好間工業団地 1-43
☎0120-26-5671 (フリーダイヤル)
- ・中通り連絡事務所
〒963-8035 郡山市希望ヶ丘 11-10
☎0120-24-1013 (フリーダイヤル)
- ・大川原連絡事務所
〒979-1306 大熊町大字大川原字南平 1734-1
☎0120-23-1095 (フリーダイヤル)
- ・現地連絡事務所
〒979-1306 大熊町大字大川原字手の倉 125
坂下ダム管理事務所内
☎0240-32-2318

大熊町コミュニティ支援事務所

- ・大熊町コミュニティ支援広域事務所
〒970-1144 いわき市好間工業団地 1-43
大熊町役場いわき出張所 2階
☎0246-88-9317
- ・梨の実サロン平
〒970-8026 いわき市平字新田前 6-10
☎0246-38-3236

大熊町社会福祉協議会

- ・いわき出張所
〒970-1144 いわき市好間工業団地 1-43
大熊町役場いわき出張所内
☎0246-38-8938
- ・中通り連絡所
〒963-8035 郡山市希望ヶ丘 11-10
大熊町役場中通り連絡事務所内
☎024-954-5733
- ・会津若松連絡所
〒965-0873 会津若松市追手町 2-41
大熊町役場会津若松出張所内
☎0242-29-5760
- ・相馬事業所
〒975-0032 南相馬市原町区桜井町二丁目 380-1
☎0244-32-0758

大熊町商工会

- 〒965-0873
会津若松市追手町 2-41
大熊町役場会津若松出張所内
☎0242-29-5770
- ・いわき出張所
〒970-1152
いわき市好間町中好間字
上川原 36-1
☎0246-85-5103

